

デジタルAVミキサー

品番 WJ-MX30

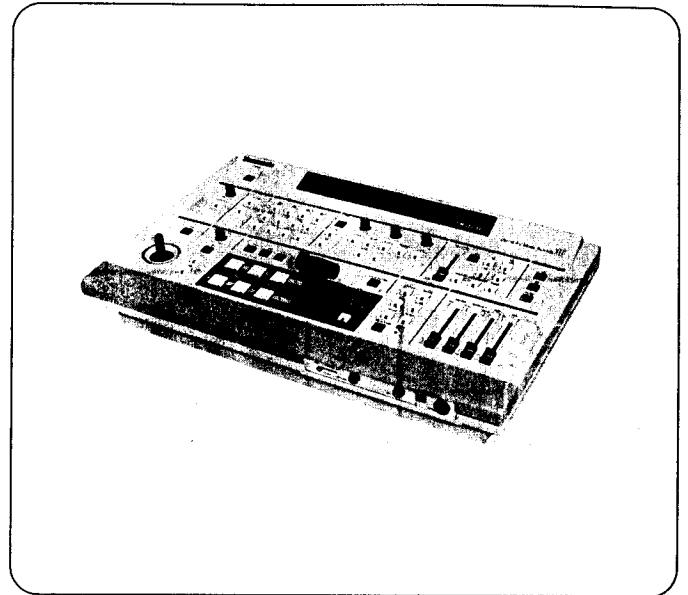
取扱説明書

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添

上手に使って上手に節電



もくじ

概要.....	2	ミックス効果の操作手順.....	28
使用上のご注意.....	5	オーディオフォロー	
各部の名前と働き.....	6	(ワイプ/ミックスの音声切換).....	29
操作面(1).....	6	オートテイク	
操作面(2).....	8	(ワイプ/ミックスの自動操作).....	30
前面.....	9	エクスターナルキー.....	31
後面.....	10	ルミナンスキー.....	32
接続のしかた.....	12	ダウンストリームキー.....	33
基本操作.....	14	フェードイン/フェードアウト.....	35
電源を入れる/切る.....	14	映像やタイトル文字のフェードイン/アウト...	35
入出力信号の選択.....	15	音声のフェードイン/アウト.....	36
マツの設定.....	16	イベントメモリ.....	37
カラーコレクタ.....	17	登録のしかた.....	37
音量の調節.....	18	登録内容の消去.....	37
デジタル効果.....	19	イベントメモリの実行.....	38
デジタル効果の種類.....	19	イベントメモリの使用例.....	39
デジタル効果の操作手順.....	21	応用操作.....	40
ミックスエフェクト.....	22	デジタル効果の応用.....	40
ワイプパターンの種類.....	22	外部機器の利用.....	41
ワイプ効果の操作手順.....	24	ワイプパターン一覧.....	42
スクエアワイプの移動.....	25	故障と思われる場合.....	44
PINP(ピクチャー・イン・ピクチャー).....	26	定格.....	45
		索引.....	46
		アフターサービスについて.....	裏表紙

概要

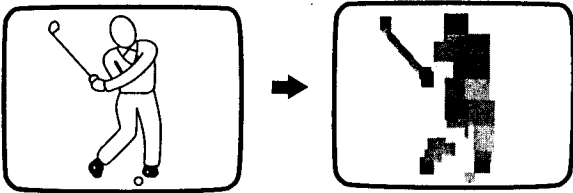
本機は、VTRなど2つの映像機器の信号をデジタル処理により合成したり、さまざまな効果を加えたりするデジタルAVミキサーです。次のようなことができます。

デジタル効果

デジタル処理により映像につきの特殊効果を加えることができます。

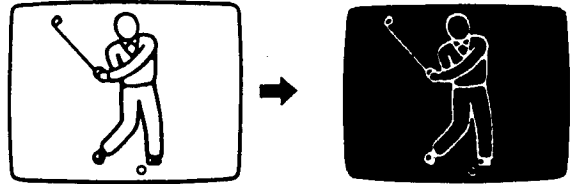
・モザイク (19ページ参照)

映像をモザイク状にします。モザイクの荒さは31段階に調節できます。



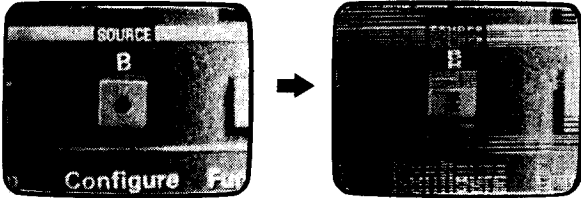
・ネガ (19ページ参照)

映像の輝度を反転し、色を補色にします。



・スクランブル (19ページ参照)

映像全体にスクランブルをかけます。



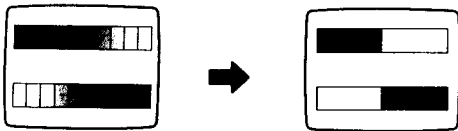
・ストロボ (19ページ参照)

映像をコマ送りにします。コマ送りの間隔は、0.03秒から2.1秒まで62段階で調節できます。



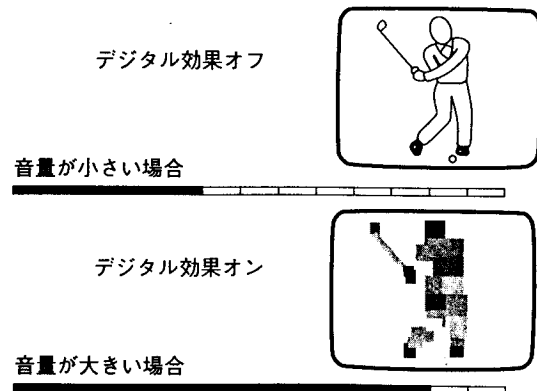
・ペイント (20ページ参照)

映像の階調数を減らし、絵画のようにします。階調数は32、16、8、4から選択できます。



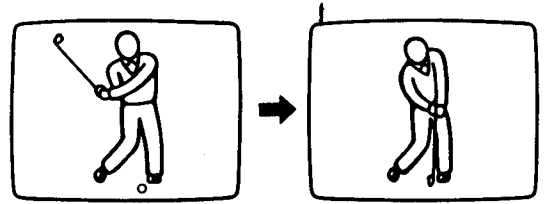
・AVシンクロ (20ページ参照)

設定した音量以上のときだけ、デジタル効果をオンにします。



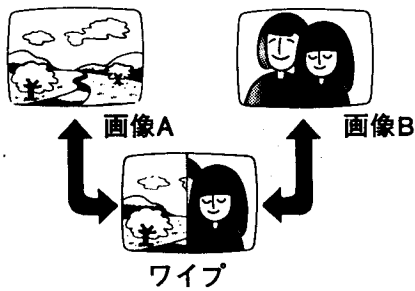
- ・モノクロ (20ページ参照)
カラー映像をモノクロ映像にします。

- ・スチル (20ページ参照)
映像を静止させます。



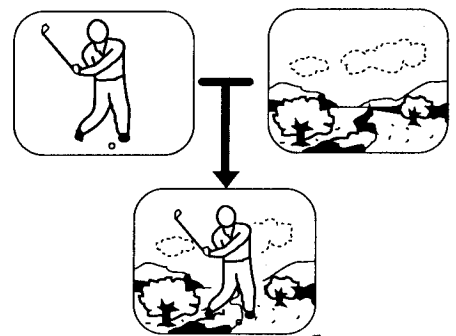
ワイブ

映像に別の映像を割り込ませます。割り込ませかた (ワイブパターン) は107種類から選択できます。(22ページ参照)



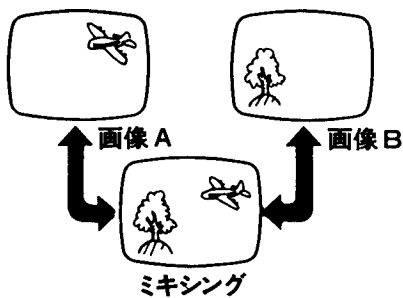
ルミナンスキー

映像の明るい部分を別の映像に合成します。(32ページ参照)



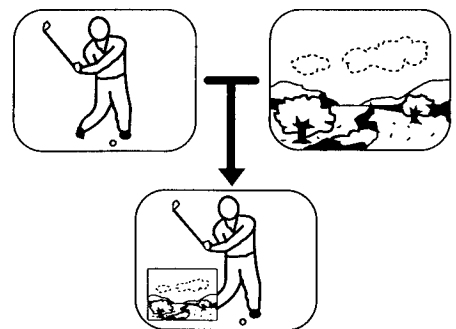
ミックス

2つの映像をオーバーラップさせながら入れ換えます。(28ページ参照)



P IN P (ピクチャー・イン・ピクチャー)

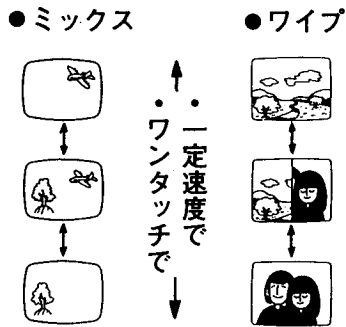
映像の中に別の映像を圧縮して割り込ませます。(26ページ参照)



概要

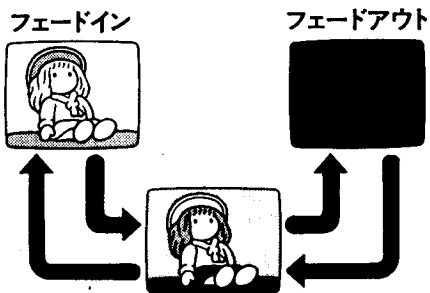
オートテイク

ワイプやミックスのときのレバー操作をワンタッチで実行できます。一定速度で操作したいときに便利です。(30ページ参照)



フェードイン/フェードアウト

映像、音声、タイトルのフェードイン/フェードアウトが、別々または組み合わせて行えます。(35ページ参照)

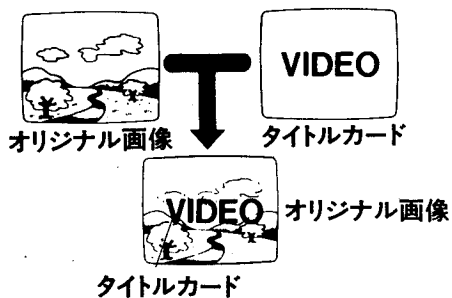


イベントメモリ

本機の設定や操作を8パターンまで登録できるイベントメモリを内蔵しています。(37ページ参照)

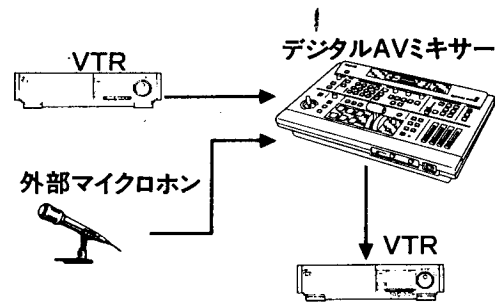
ダウンストリームキー

ビデオカメラからの入力信号を映像にスーパーインポーズすることができます。(33ページ参照)



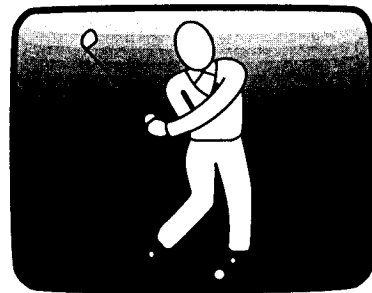
音声ミキシング

外部マイクを含む4種類の音声をミキシングできます。(18ページ参照)



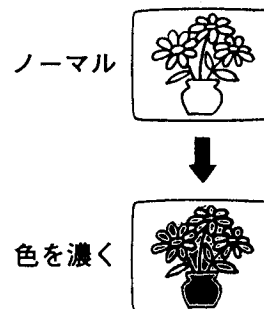
マットの設定

入力映像とは別に、無地またはグラデーション付きのマットカラーを使えます。(16ページ参照)



カラーコレクタ

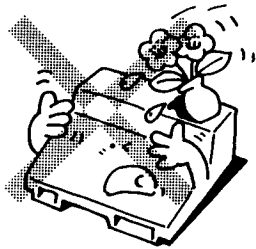
映像の色の濃さや色調を自由に変えられます。(17ページ参照)



使用上のご注意

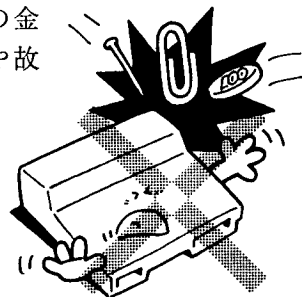
雨や水がかからないように

内部に水やほこりが入ると故障や事故の原因となります。



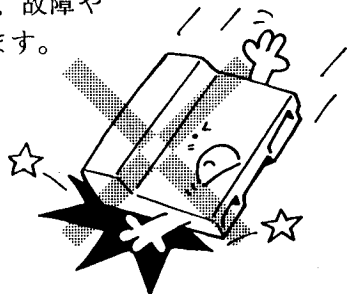
異物をいれない

本機の内部に縫い針、ヘアピン、硬貨などの金属物が入ると感電や故障の原因となります。



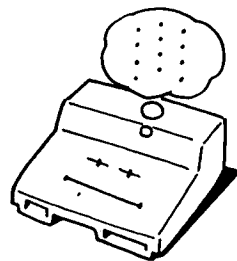
取り扱いはていねいに

落下させたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因となります。



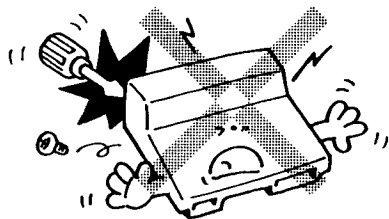
本機に異常があるときは

使用中に突然映像が出なくなったなどの異常を生じた場合はすぐに電源を切り、販売店にご連絡ください。



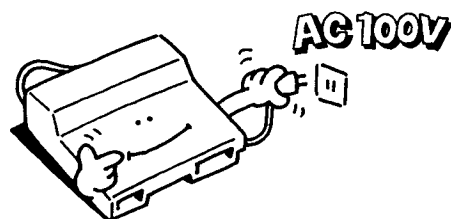
内部には触れないで

内部に触れると感電や故障の原因となります。



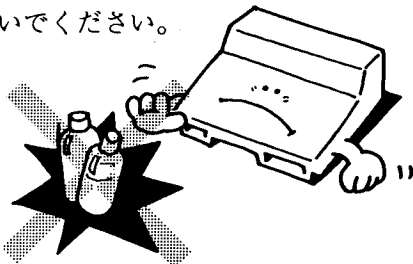
交流100Vを使用

必ずAC100Vに接続してください。



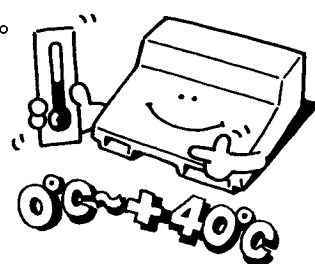
お手入れは

台所用洗剤を布にしみ込ませて軽くふいてください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけたりしないでください。



使用周囲温度は0℃～+40℃

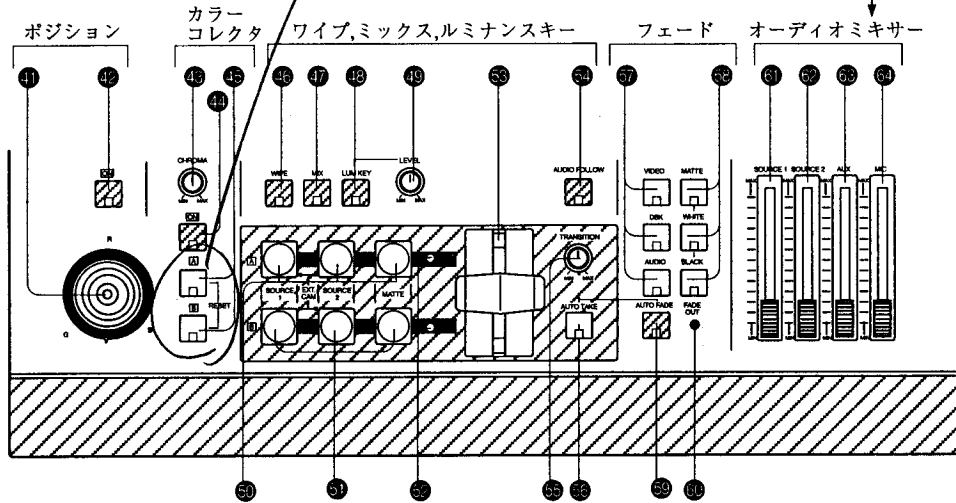
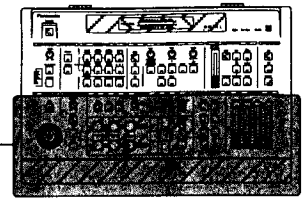
0℃以下の寒い所や+40℃以上の暑い所では内部の部品に悪影響を与えます。



各部の名前と働き

■ 操作面 (2)

電源 ONで A/Bを押し
オーディオリセットができる。



ポジション (25ページ参照)

- ④① ジョイスティック [R, G, B]
スクエアワイプの位置を移動したり、カラーコレクタで色合いを調節するときに使います。
- ④② ポジションONスイッチ [ON]
スクエアワイプの位置を移動するときにこのスイッチを押します。

カラーコレクタ (17ページ参照)

- ④③ クロマ調節つまみ [CHROMA MIN/MAX]
色の濃さを調節します。
- ④④ カラーコレクタONスイッチ [ON]
映像の色合いや色の濃さを調節するときに押します。
- ④⑤ カラーコレクタバス選択スイッチ [A, B]
色の調整の対象となるバスを選択します。
A: Aバスを選択する
B: Bバスを選択する

ワイプ、ミックス、ルミナンスキー

- ④⑥ ワイプスイッチ [WIPE]
ワイプを使うときに押します。
- ④⑦ ミックススイッチ [MIX]
ミックスを使うときに押します。
- ④⑧ ルミナンスキースイッチ [LUM KEY]
ルミナンスキーを使うときに押します。
- ④⑨ ルミナンスキーレベルつまみ [LEVEL MIN/MAX]
ルミナンスキーで抜き取る明るさを調節します。

⑤⑩ Aバスソース選択スイッチ

- [SOURCE1, SOURCE2, MATTE]
Aバスに入力する信号を次の4つから選択します。
SOURCE1: ソース1映像入力、ソース1音声入力を選択する
SOURCE2: ソース2映像入力、ソース2音声入力を選択する
MATTE: マットカラーを選択する
SOURCE1とSOURCE2の同時押し:
外部カメラ入力を選択する

⑤⑪ Bバスソース選択スイッチ

- [SOURCE1, SOURCE2, MATTE]
Bバスに入力する信号を次の4つから選択します。
SOURCE1: ソース1映像入力、ソース1音声入力を選択する
SOURCE2: ソース2映像入力、ソース2音声入力を選択する
MATTE: マットカラーを選択する
SOURCE1とSOURCE2の同時押し:
外部カメラ入力を選択する

⑤⑫ レバーポジション表示LED

ワイプレバーがA、Bどちら側にあるかを示します。

⑤⑬ ワイプ/ミックスレバー

ワイプやミックスなどで使います。

⑤⑭ オーディオフォロースイッチ [AUDIO FOLLOW]

映像のワイプやミックスに連動して音声も切り換わるようにします。

⑤⑮ トランジションつまみ [TRANSITION MIN/MAX]

オートテイク、オートフェード、イベントメモリ実行の速さを調節します。

- ⑤6 オートテイクスイッチ [AUTO TAKE]
ワイプやミックスを自動的に行います。

フェード (35ページ参照)

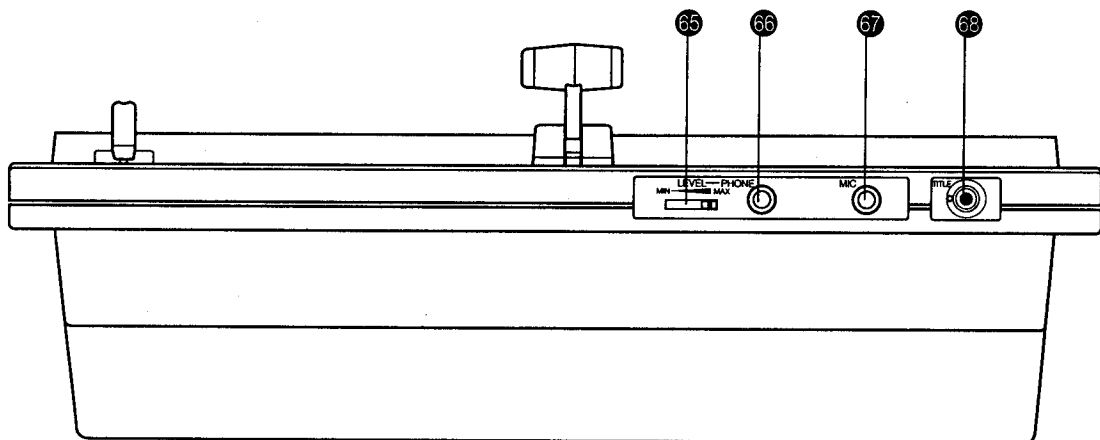
- ⑤7 フェード選択スイッチ [VIDEO, DSK, AUDIO]
フェードイン/フェードアウトの対象を選択します。
VIDEO：映像を対象にする
DSK：ダウンストリームキーによるタイトル文字を対象にする
AUDIO：音声を対象にする
- ⑤8 フェードカラー選択スイッチ [MATTE, WHITE, BLACK]
フェードアウトしたあとの色を選択します。
MATTE：マットカラー
WHITE：白
BLACK：黒
- ⑤9 オートフェードスイッチ [AUTO FADE]
フェードイン/フェードアウトを自動的に行います。

- ⑥0 フェードアウトLED [FADE OUT]
フェードイン/アウトの最中はLED点滅し、フェードアウトしているときはLED点灯します。

オーディオミキサー (18ページ参照)

- ⑥1 ソース1音量つまみ [SOURCE1 MIN/MAX]
ソース1音声入力コネクタ⑦①に入力されている信号の音量を調節します。
- ⑥2 ソース2音量つまみ [SOURCE2 MIN/MAX]
ソース2音声入力コネクタ⑦②に入力されている信号の音量を調節します。
- ⑥3 外部音声入力音量つまみ [AUX MIN/MAX]
外部音声入力コネクタ⑦④に入力されている信号の音量を調節します。
- ⑥4 外部マイク音量つまみ [MIC MIN/MAX]
マイク入力ジャック⑦③に入力されている信号の音量を調節します。

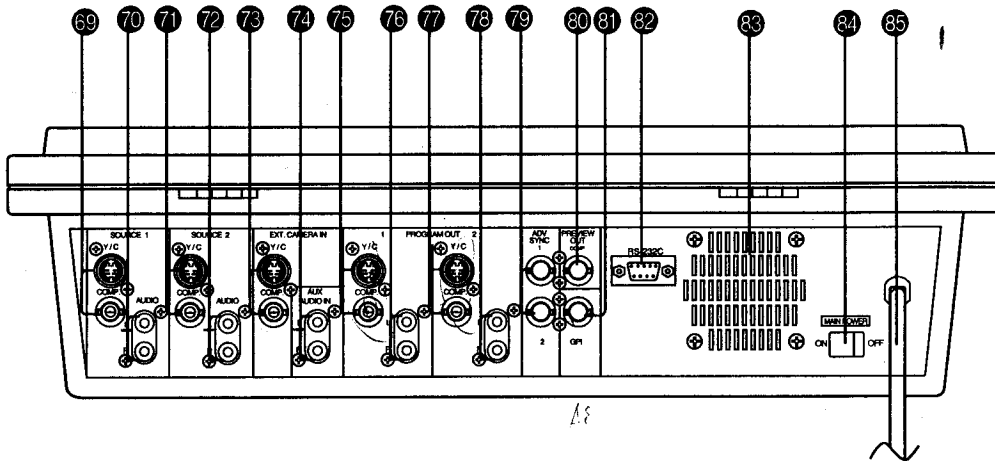
■ 前 面



- ⑥5 ヘッドホンレベルつまみ [LEVEL MIN/MAX]
ヘッドホンの音量を調節します。
- ⑥6 ヘッドホンジャック [PHONE]
ヘッドホンを接続します。オーディオミキサーで混合した音声をモニターできます。
- ⑥7 マイク入力ジャック [MIC]
マイクを接続します。音声信号にナレーションを入れることができます。
- ⑥8 タイトル入力コネクタ [TITLE]

各部の名前と働き

■後面



- 69** ソース1映像入力コネクタ
[SOURCE1 (Y/C, COMP)]
VTRの映像信号を接続します。
Y/C : Y/C (S-VHS VTRの映像) 信号を接続する
COMP : コンポジット信号 (1.0Vp-p/75Ω) を接続する

ご注意

- ・NTSC標準に合わない入力信号は同期の乱れることがあります。
- ・入力信号のS/Nが低すぎる場合は、映像の画質が悪くなる場合があります。
- ・回路内ではY/C入力がコンポジット入力より優先されます。Y/Cコネクタにケーブルが接続されていると、コンポジット入力は受け付けません。

- 70** ソース1音声入力コネクタ
[SOURCE1 (AUDIO L/R)]
VTRの音声信号 (-6dBs/20kΩ) を接続します。
- 71** ソース2映像入力コネクタ
[SOURCE2 (Y/C, COMP)]
VTRの映像信号を接続します。
Y/C : Y/C (S-VHS VTRの映像) 信号を接続する
COMP : コンポジット信号 (1.0Vp-p/75Ω) を接続する

ご注意

- ・NTSC標準に合わない入力信号は同期の乱れることがあります。
- ・入力信号のS/Nが低すぎる場合は、映像の画質が悪くなる場合があります。
- ・回路内ではY/C入力がコンポジット入力より優先されます。Y/Cコネクタにケーブルが接続されていると、コンポジット入力は受け付けません。

- 72** ソース2音声入力コネクタ
[SOURCE2 (AUDIO L/R)]
VTRの音声信号 (-6 dBs/20kΩ) を接続します。

- 73** 外部カメラ映像入力コネクタ
[EXT.CAMERA IN (Y/C,COMP)]
外部カメラの映像信号を接続します。
Y/C : Y/C (S-VHS VTRの映像) 信号を接続する
COMP : コンポジット信号 (1.0Vp-p/75Ω) を接続する

ご注意

- ・回路内ではY/C入力がコンポジット入力より優先されます。Y/Cコネクタにケーブルが接続されていると、コンポジット入力は受け付けません。
- ・ビデオカメラの信号のみ接続できます。VTR再生信号では映像が乱れます。
- ・カメラは、ムービーカメラなどをご使用ください。白黒カメラで水平同期周波数の異なるもの (15.75kHz) はご使用できません。適合できない機種は、WV-1400シリーズ、WV-1500シリーズ、WV-CD20/CD50です。WV-BP100・BP310も使用できる。

- 74** 外部音声入力コネクタ [AUX AUDIO IN L/R]
CDプレーヤなどのオーディオ機器の音声信号 (-6 dBs/20kΩ) を接続します。モノラルの場合はLチャンネルに接続します (本機内部でRチャンネルにも分配されます)。

- 75** 映像出力コネクタ 1
[PROGRAM OUT1 (Y/C, COMP)]
録画用のVTRやカラービデオ受像機の映像入力コネクタに接続します。
Y/C : Y/C (S-VHS VTRの映像) 信号
COMP : コンポジット信号 (1.0Vp-p/75Ω)

76 音声出力コネクタ1 [PROGRAM OUT1 L/R]

録画用のVTRやカラービデオ受像機の音声入力コネクタに接続します。音声出力は-6dB/1kΩです。

77 映像出力コネクタ2

[PROGRAM OUT2 (Y/C, COMP)]

録画用のVTRやカラービデオ受像機の映像入力コネクタに接続します。

Y/C : Y/C (S-VHS VTRの映像) 信号

COMP : コンポジット信号 (1.0Vp-p/75Ω)

78 音声出力コネクタ2 [PROGRAM OUT2 L/R]

録画用のVTRやカラービデオ受像機の音声入力コネクタに接続します。音声出力は-6dB/1kΩです。

79 アドバンスドシンク出力コネクタ [ADV SYNC1,2]

ソース用VTRに接続することにより、外部同期をかけることができます。出力は4.0Vp-p/75Ωです。

80 プレビュー出力コネクタ [PREVIEW OUT COMP]

デジタル効果、ワイプ、ミックスなどのかかった映像が出力されます。コンポジット信号 (1.0Vp-p/75Ω)。プログラムアウトでAバス出力スイッチ 38 やBバス出力スイッチ 39 を選択しても、デジタル効果、ワイプ、ミックスなどのかかった信号が出力されます。

→ AG-7250・AG-7150はアドバンス SYNC の為です

[VTRのTBCをONにすると水平ジッターが少なる]

→ AG-7650 (TBC内蔵) のVTRは同期がシフトシスの為

アドバンス シンク出力をのびてはいける



バーストがのびるロックがかかる

編集精度が
1フレームスレ

81 GPI入力コネクタ [GPI]

GPI出力を装備した外部機器を接続します。外部機器からオートテイクの操作を行うことができます。→38ページ参照

82 RS-232Cコネクタ [RS-232C]

パソコンを接続します。パソコンからはAVシンクロレベル、外部マイク音量、外部音声入力音量の設定以外のすべての設定が行えます。→41ページ参照

83 冷却ファン

電源を入れると作動します。

84 主電源スイッチ [MAIN POWER ON/OFF]

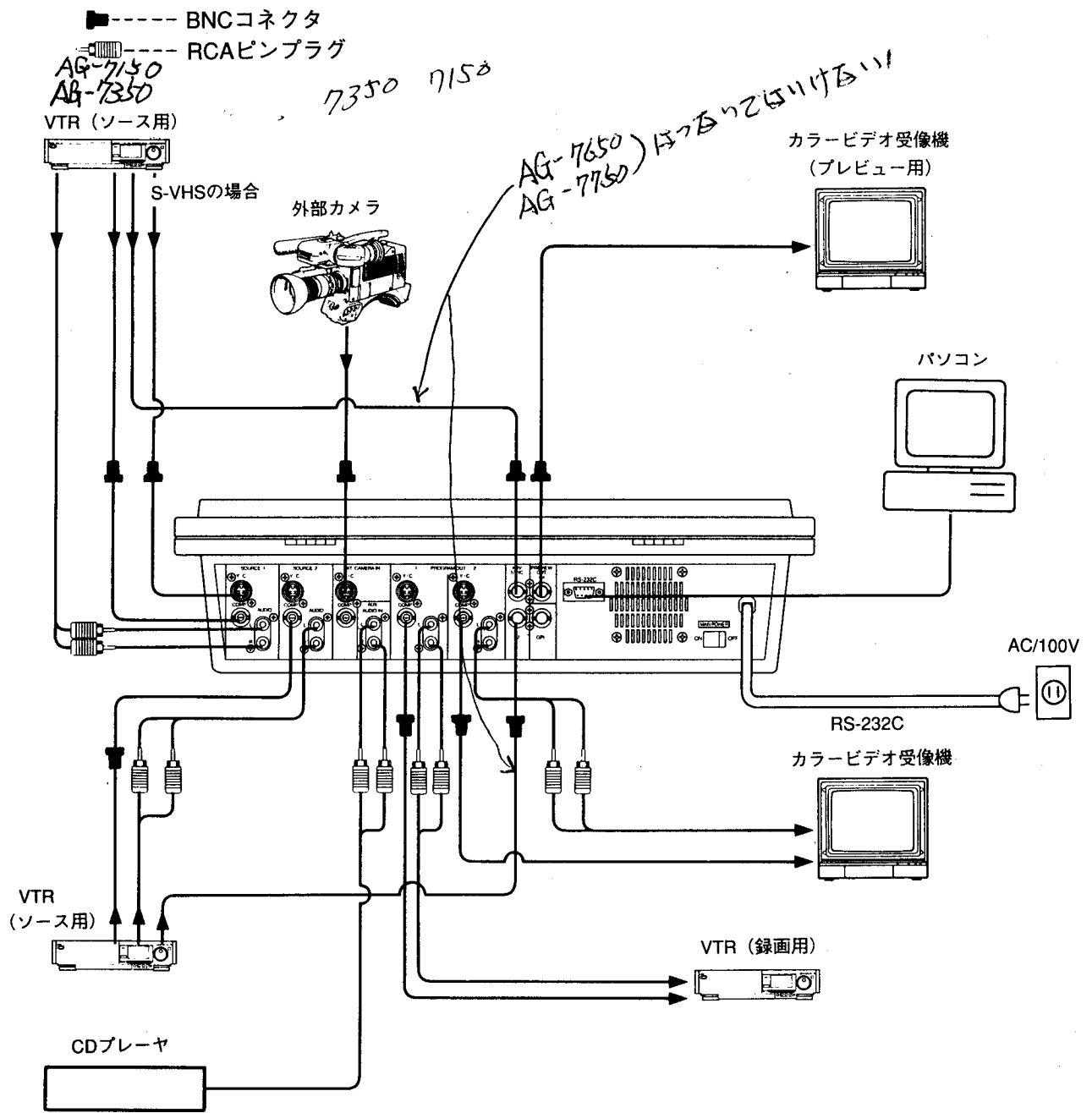
このスイッチをONにし、電源スイッチ 4 を押すと、本機の電源が入り、待機状態になります。長期間使用しない場合はOFFにします。→14ページ参照

85 電源コード

AC100V 50/60Hz

接続のしかた

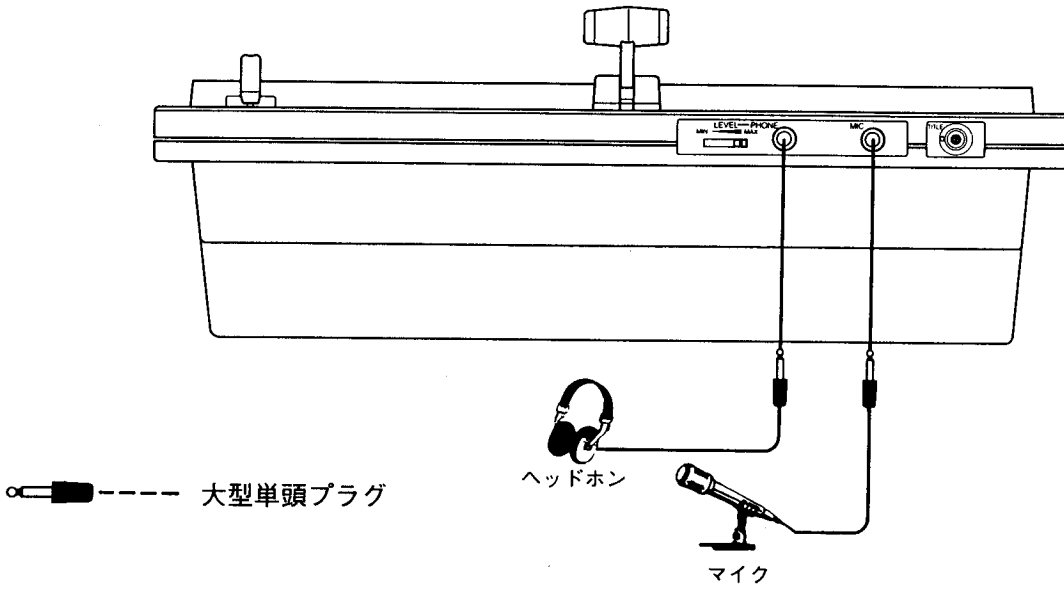
● 後面



ご注意

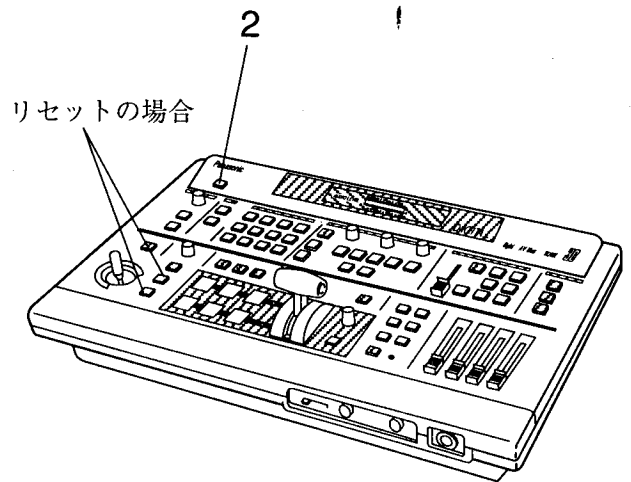
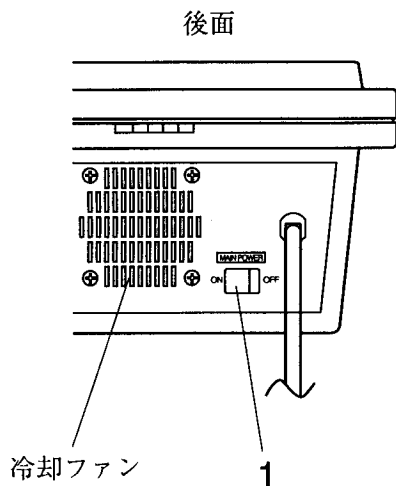
- ・ 接続するときは各機器の電源を切ってください。
- ・ 接続はコネクタ・プラグを最後までしっかりと差し込んでください。
- ・ 使用するカメラのピントを合わせてください。
- ・ 接続する各機器の取扱説明書もよくお読みください。

● 前面



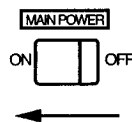
基本操作

■電源を入れる／切る



●電源を入れる

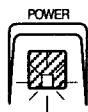
1. 後面の主電源スイッチ⑧をONにします。待機状態になります。



ご注意

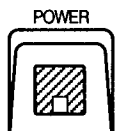
電源スイッチ④をOFFせずに、主電源スイッチ⑧をOFFにした場合、次に主電源スイッチ⑧をONにすると下記のような状態になります。
設定内容が失なわれていない時…操作可能状態
設定内容が失なわれている時……待機状態

2. 操作面の電源スイッチ④を押します（LED点灯）。操作可能状態になります。この状態で操作できます。



●電源を切る

- ・操作面の電源スイッチ④を押します（LED消灯）。待機状態になります。



- ・通常、使用しないときは待機状態にします。待機状態では本機の設定内容が失われません。（スチル、ストロボを除く）
- ・約1週間以上電源を入れなかった場合は、設定内容が失われることがあります。

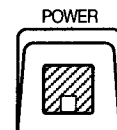
ご注意

- ・電源を入れても冷却ファンが作動しない場合は、すぐに電源コードを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・本機を長期間使用しない場合は、主電源スイッチ⑧をOFFにしてください。

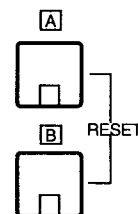
●リセットする

設定した内容をすべて解除し、工場出荷状態に戻すことをリセットといいます。リセットするときは次のようにします。

1. 電源スイッチ④を押して、電源を切ります（LED消灯）。



2. カラーコレクタバス選択スイッチ④のAとBのスイッチを押したまま、電源スイッチ④を押して電源を入れます。

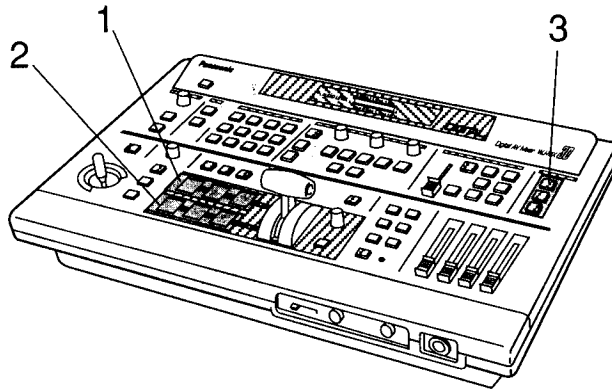


ご注意

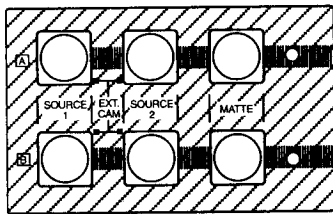
- ・後面の主電源スイッチ⑧を長期間OFFにした場合も設定内容はリセットされます。

■ 入出力信号の選択

Aバス、Bバスに入力する信号および本機から出力する信号を選択します。



1. Aバスソース選択スイッチ(50)で、Aバスに入力する信号を選択します。



- ・ SOURCE 1 : ソース 1 の信号
- ・ SOURCE 2 : ソース 2 の信号
- ・ MATTE : マットカラー → 16ページ参照
- ・ SOURCE 1 と SOURCE 2 の同時押し : 外部カメラ入力

2. Bバスソース選択スイッチ(51)で、Bバスに入力する信号を選択します。

- ・ SOURCE 1 : ソース 1 の信号
- ・ SOURCE 2 : ソース 2 の信号
- ・ MATTE : マットカラー → 16ページ参照
- ・ SOURCE 1 と SOURCE 2 の同時押し : 外部カメラ入力

3. プログラムアウトのいずれかのスイッチを押して、出力信号を選択します。押したスイッチのLEDが点灯します。

- ・ Aバス出力スイッチ(38):



Aバスの信号を出力する

- デジタル効果とカラーコレクタもかかります。
- マットカラーは出力されません。

- ・ Bバス出力スイッチ(39):



Bバスの信号を出力する

- デジタル効果とカラーコレクタもかかります。
- マットカラーは出力されません。

- ・ 特殊効果出力スイッチ(40):



特殊効果(デジタル効果、ワイプ、ミックス、ルミナンスキー、ダウンストリームキー、フェード)を加えた映像信号を出力する。

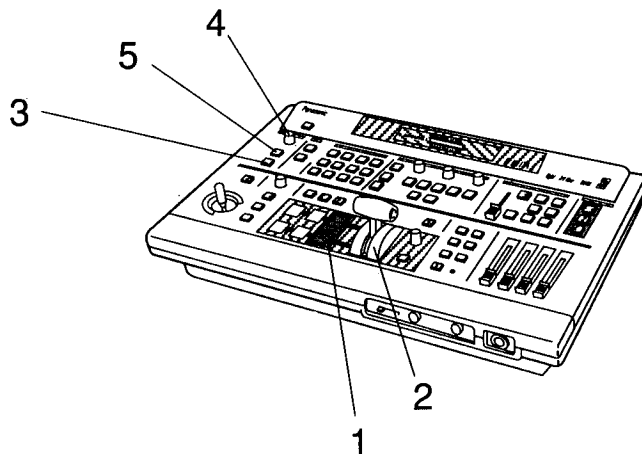
ご注意

同一バス内での信号の切り換えでは、同期の乱れを防ぐために切り換え前の映像信号を3フィールド(0.1秒)間、スチル(静止画)にしています。本機の出力を録画中に映像信号を切り換える場合は、オートテイクでオートテイク時間を最小にし、AバスからBバス(またはその逆)へのミックスまたはワイプを使ってください。→30ページ参照

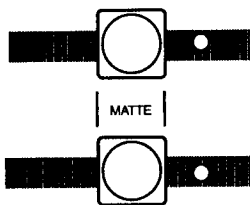
基本操作

■ マットの設定

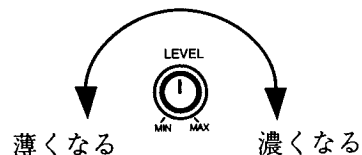
マットの色、色の濃さ、グラデーションを設定します。



1. Aバスソース選択スイッチ⑥またはBバスソース選択スイッチ⑦で、MATTEを選択します。

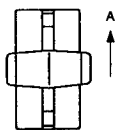
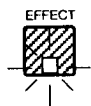


4. マットカラーレベルつまみ③を回し、色の濃さを変えます。



・カラーバーの場合は色の濃さは変わりません。

2. 特殊効果出力スイッチ④を押し(LED点灯)、ワイプ/ミックスレバー⑤でバスを選択します。



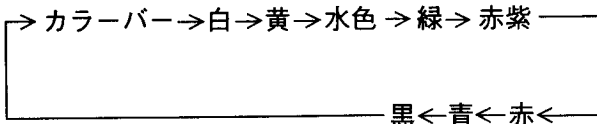
例：Aバスでマットを選択した場合は、ワイプ/ミックスレバー⑤でAバスを選択します。

5. グラデーションを設定する場合は、グラデーションスイッチ②を押します(LED点灯)。スイッチを押すごとに、グラデーションのパターンが次の順に変わります。



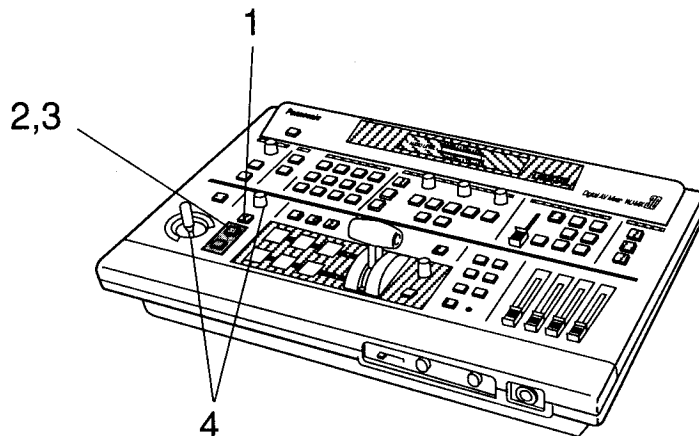
・カラーバーの場合はグラデーションになりません。

3. マットカラー選択スイッチ①を押して、色を設定します。スイッチを押すごとに次の順で色が変わります。

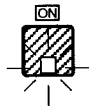


■ カラーコレクタ

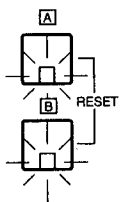
Aバス、Bバス信号の色合い、色の濃さを調節します。



1. カラーコレクタONスイッチ④を押します (LED点灯)。

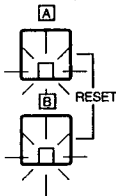


2. カラーコレクタバス選択スイッチ⑤で、色を設定するバスを選択します。押したスイッチのLEDは点滅します。



- ・色の濃さだけを調節するときは、この状態で行います。(色合いは調節できません)
- ・両方のバスの色を同時に設定したいときは、A、B両方を押します。

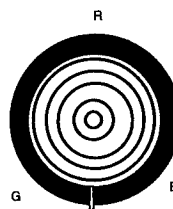
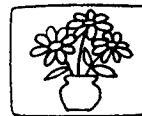
3. もう一度同じカラーコレクタバス選択スイッチ⑤ (AかB) を押すと、スイッチのLEDが点灯し色の濃さと色合いの両方が調節できる状態になります。



4. 色の濃さ、または色合いを調節します。



- ・色の濃さを調節するときは、クロマ調節つまみ④を回します。色の濃さ(クロマ量)が0%(白黒)から120%まで変えられます。



- ・色合いを調節するときは、ジョイスティック④を使います。倒す方向と角度によって色合いが変わります。中央にすると元の色合いに戻ります。
- ・モノトーンにするときは、クロマ調節つまみ④をMINに合わせます。
- ・LEDが点灯しているカラーコレクタバス選択スイッチ⑤を押すと、スイッチのLEDが消灯し、元の色の濃さ、色合いに戻ります。

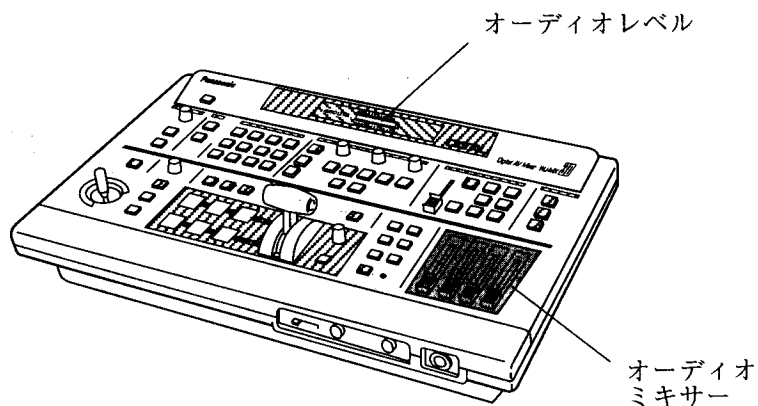
ご注意

- ・色の濃さ・色相は、A、B共通となっています。A、Bそれぞれを別の色相、濃さに調節することはできません。
- ・ジョイスティック④はカラーコレクタの色合い調節とポジション機能に共通のため、カラーコレクタONの時にポジションをONにすると、カラーコレクタは保留(色合いが保持されLED点滅)になります。

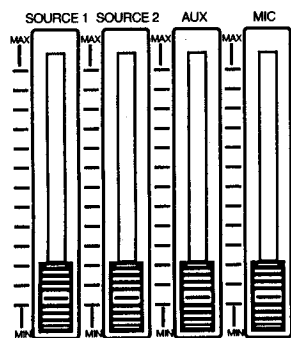
基本操作

■ 音量の調節

各音声信号の音量を調節し、ミキシングします。



オーディオミキサーのつまみ⑥①～⑥④で、ソース1、ソース2、外部音声入力、外部マイク入力の各音量を別々に調節できます。

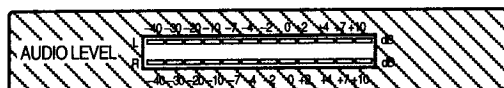


- オーディオレベル③①に表示されるのは、出力コネクタから出力されるミキシングされた信号の音量です。
- ヘッドホンジャック⑥⑥に接続したヘッドホンで、ミキシングした音声を聞けます。ただし、ヘッドホン出力にはフェード効果はかかりません。

ご注意

- 使用しない信号のつまみはMINにしておきます。
- MAX側にしすぎると音が歪む場合があります。

- 映像をマットにしても、音声はそのまま出力されます。
- ワイプ、ミックスに連動して、AバスとBバスの音声を切り換えるオーディオフォロー機能があります。→29ページ参照



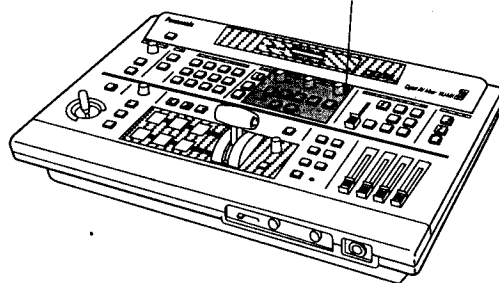
デジタル効果

■ デジタル効果の種類

デジタル効果にはモザイク⑳、スクランブル㉑、ネガ㉒、ストロボ㉓、ペイント㉔、モノクロ㉕、スチル㉖、AVシンクロ㉗があります。

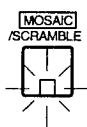
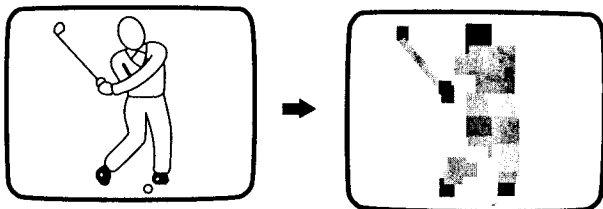
AバスやBバスの映像に各種のデジタル効果を加えることができます。複数のデジタル効果を組み合わせることもできます（ただし、ストロボとスチルを同時にかけることはできません）。以下では、各デジタル効果について説明します。操作手順については「デジタル効果の操作手順」を参照してください。→21ページ参照

デジタル効果の種類の選択

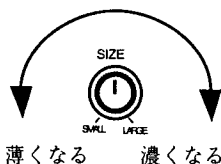


● モザイク

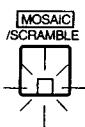
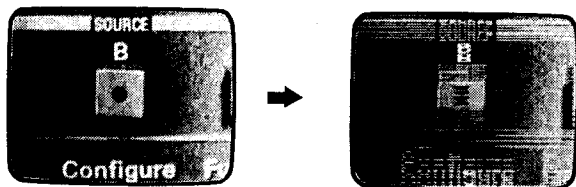
- モザイク/スクランブルスイッチ㉑を押すと（LED点灯）、映像がモザイク状になります。



- モザイクサイズつまみ㉒ でモザイクの荒さを31段階に調整できます。モザイクの荒さはAバス、Bバスで共通です。
- 映像の一部分だけにモザイクをかけるモザイクスポットライト機能もあります。→40ページ参照

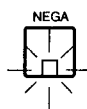
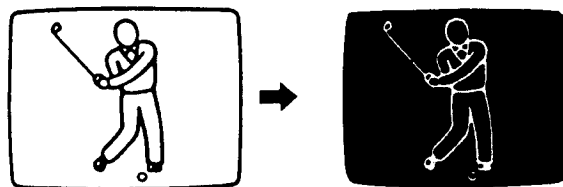


● スクランブル



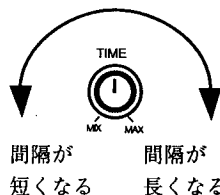
- モザイク/スクランブルスイッチ㉑を2度押すと（LED点滅）、映像にスクランブルがかけられます。このときモザイクサイズつまみ㉒は使えません。

● ネガ



- ネガスイッチ㉒を押すと（LED点灯）、映像の輝度が反転し、色が補色に変わります。

● ストロボ



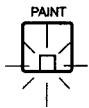
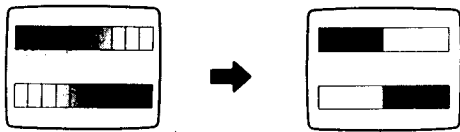
- ストロボスイッチ㉓を押すと（LED点灯）、映像がコマ送りになります。
- ストロボタイムつまみ㉔で、コマ送りの間隔を約0.03秒から約2.1秒まで62段階で調整できます。コマ送りの間隔は、Aバス、Bバスで共通です。

ご注意

ストロボ中に、スチルをかけるとストロボは解除されます。また、P IN Pスイッチ㉕を押すと、Bバス側のストロボが解除されます。（ダブルP IN Pの場合は、A、Bバス側ともに解除されます。）

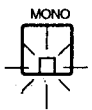
デジタル効果

●ペイント



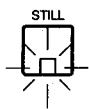
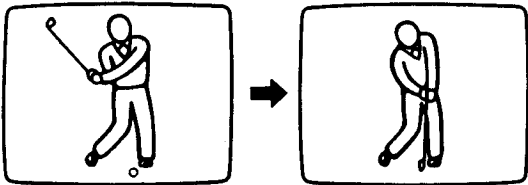
- ・ペイントスイッチ²⁷を押すと（LED点灯）、映像の階調数が減って絵画のようになります。ペイントスイッチ²⁷を押すごとに、32階調、16階調、8階調、4階調と変化します。

●モノクロ



- ・モノクロスイッチ²⁹を押すと（LED点灯）、映像が白黒（モノクロ）になります。

●スチル



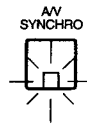
- ・スチルスイッチ³⁰を押すと（LED点灯）、映像が静止（スチル）します。

ご注意

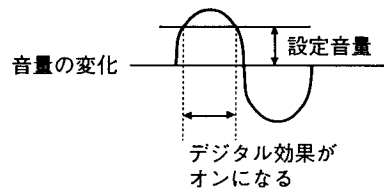
スチル中に、ストロボをかけると、スチルは解除されます。

また、PINPスイッチ¹⁴を押すと、Bバス側のスイッチが解除されます。（ダブルPINPの場合は、A、Bバス側ともに解除されます。）

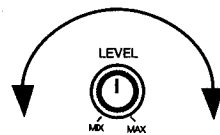
●AVシンクロ



- ・AVシンクロスイッチ²⁸を押すと（LED点灯）、AVシンクロ状態になります。この状態では、音声が大きくなるとデジタル効果がオンになり、音声が小さくなるとデジタル効果がオフになります。



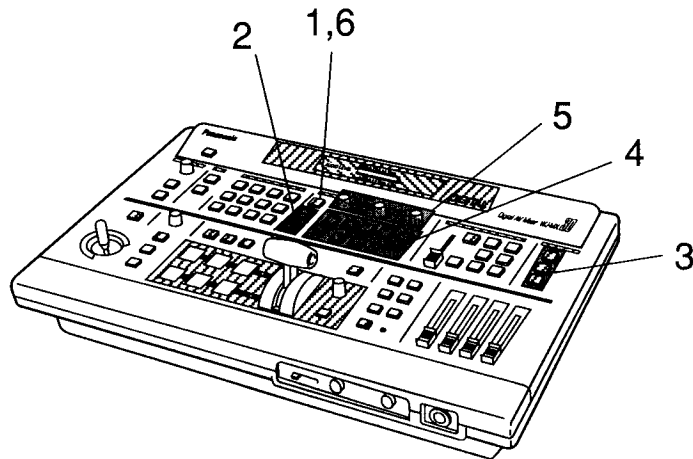
- ・AVシンクロレベルつまみ²³で、デジタル効果をオン/オフする音量の大きさが調節できます。



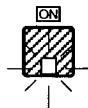
デジタル
効果がか
かりやすい

デジタル
効果がか
かりにくい

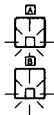
■ デジタル効果の操作手順



1. デジタル効果ONスイッチ①⑨を押します (LED点灯)。



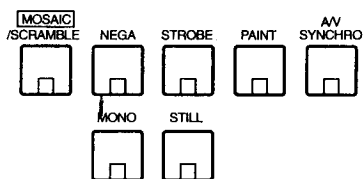
2. デジタル効果バス選択スイッチ②⑩のいずれかを押し、バスを選択します (LED点灯)。バスを選択すると同時に各デジタル効果のON/OFF状態 (スイッチのLED点灯/消灯) は、そのバスで設定された状態に切り換わります。



3. 手順2で選択したバスの信号が出力されるように、プログラムアウトのスイッチ③⑧~④⑩を押します (LED点灯)。EFFECTを選択した場合は、ワイプ/ミックスレバー⑤③でバスを切り換えます。



4. かけたいデジタル効果のスイッチ②④~③⑩を押します (LED点灯)。選択したデジタル効果がかかります。



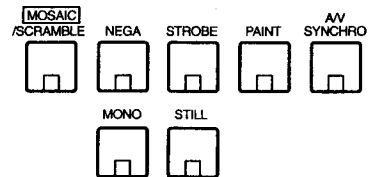
スクランブルの場合だけは、モザイク/スクランブルスイッチ②④を2度押してください。



5. モザイク、ストロボ、AVシンクロの場合は、次のつまみで調節を行います。
- ・モザイクサイズつまみ②④ : モザイクの荒さを調節する
 - ・ストロボタイムつまみ②② : コマ送りの間隔を調節する
 - ・AVシンクロレベルつまみ②③ : デジタル効果をオン/オフする音量を調節する



6. デジタル効果をすべてオフにする場合は、デジタル効果ONスイッチ①⑨を押します (LED消灯)。デジタル効果を個別にオフにする場合は、そのデジタル効果のスイッチ②④~③⑩を押します (LED消灯)。モザイクの場合は、モザイク/スクランブルスイッチ②④を2度押してください (LED消灯)。

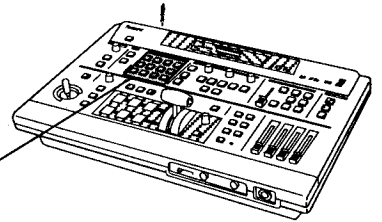
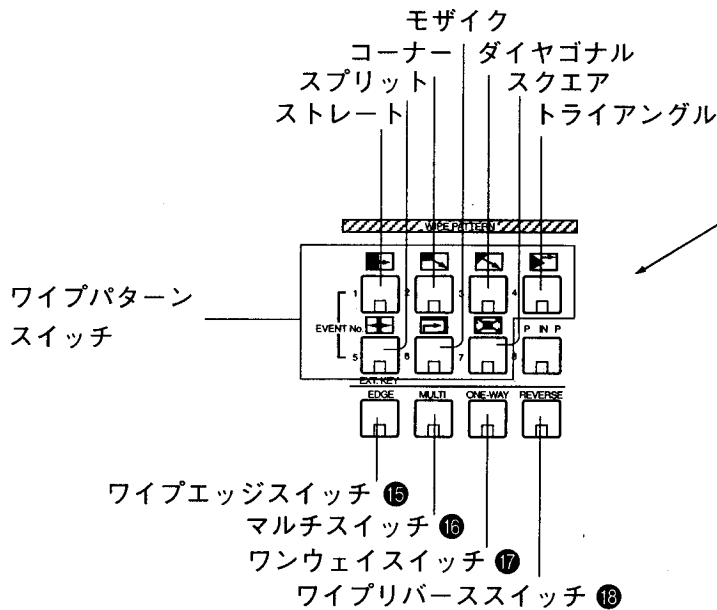


ペイントの場合は、ペイントスイッチ②⑦を5度押してください (LED消灯)。

ミックスエフェクト

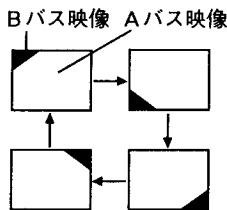
■ ワイプパターンの種類

107種類のワイプパターンが選択できます。(ワイプパターン一覧表→42ページ参照)

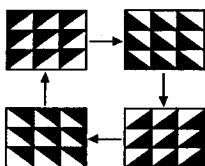


一方のバスの映像にもう一方のバスの映像を割り込ませるのがワイプ効果です。

- ・ 割り込ませる形のことをワイプパターンといいます。
- ・ ワイプパターンを選択するときは、7つのワイプパターンスイッチ⑦～⑬とマルチスイッチ⑯を使います。
- ・ ワイプパターンスイッチ⑦～⑬だけで28種類(基本ワイプパターン)、マルチスイッチ⑯を組み合わせると全部で107種類あり、ワイプパターンが選択できます。
- ・ ワイプパターンスイッチ⑦～⑬を押すごとに、ワイプパターンは4種類に変化します。(下図はダイアゴナルワイプスイッチ⑨の場合)。



マルチスイッチ⑯を押すと、ワイプパターンがいくつかに分割されて、別なワイプパターンになります。例えば、マルチスイッチ⑯のLEDが点灯した状態だと、上図のワイプパターンは次のようになります。



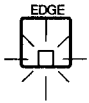
マルチスイッチ⑯についても、1回から4回まで押すことによりワイプパターンが変化します。各ワイプパターンスイッチ⑦～⑬とマルチスイッチ⑯を組み合わせることにより、合計107種類のワイプパターンが選択できます。

ご注意

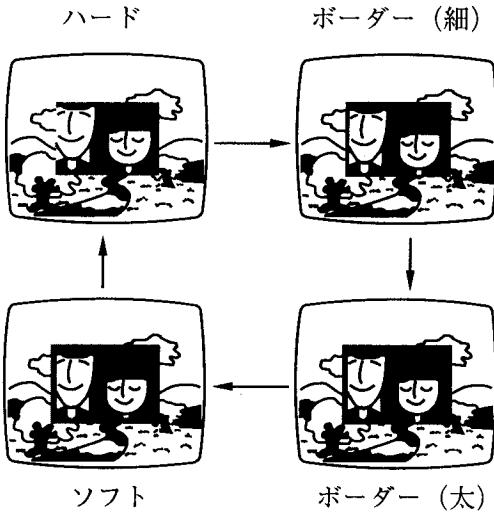
- ・ スプリットワイプパターンの4回目は、エクスターナルキー (31ページ参照) のため、マルチスイッチ⑯とは組み合わせられません。
- ・ マルチスイッチ⑯を使ったワイプパターン(マルチパターン)の数は、ワイプパターンスイッチ⑦～⑬によって異なります。コーナー、スクエア、ダイアゴナルでは各基本ワイプパターンごとに4種類のマルチパターンがありますが、その他のワイプパターンスイッチ⑦,⑩,⑪,⑫では1種類から3種類です。

●ワイプのエッジ（境目）の設定

ワイプエッジスイッチ⑮を押すと（LED点灯）、ワイプのエッジ（境目）が変わられます。

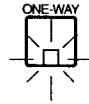


ワイプエッジスイッチ⑮を押すごとに次のように変わります。エッジの色はマットの補色が使われます。



●ワイプ方向の固定

ワンウェイスイッチ⑰を押すと（LED点灯）、一方方向に固定されるため、ワイプ/ミックスレバー⑤③を反対の方向に動かしても、前と同じ方向にワイプします。

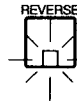


・ワンウェイスイッチ⑰のLEDが消灯しているときに、ワイプ/ミックスレバー⑤③を反対の方向に動かすと、ワイプ方向も逆になります。



●ワイプ方向の逆転

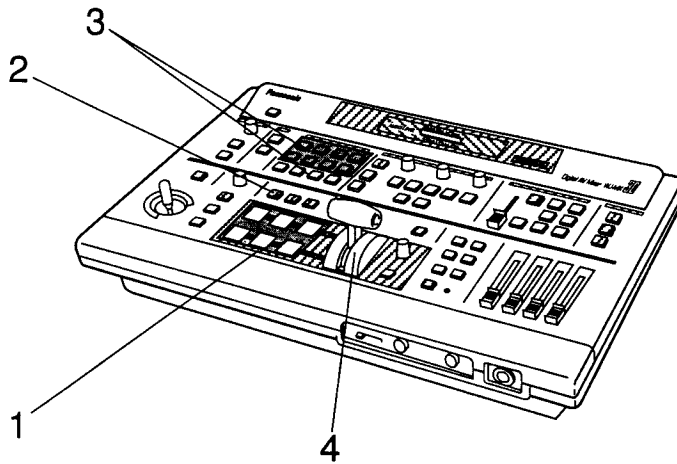
ワイプリバーススイッチ⑱を押すと（LED点灯）、ワイプ/ミックスレバー⑤③を倒したときのワイプ方向が逆になります。



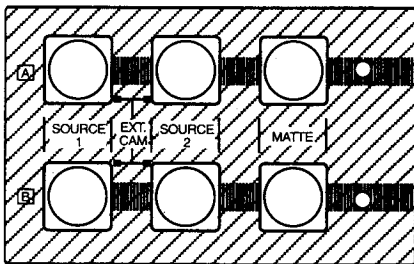
ミックスエフェクト

■ ワイプ効果の操作手順

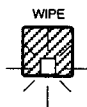
Aバスの映像に、Bバスの映像を割り込ませて入れ換えます。



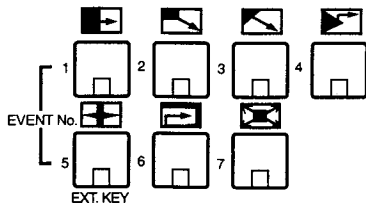
1. ソース選択スイッチでAバス⑤⑥とBバス⑤⑥の映像を選択します。マットを選択することもできます。



2. ワイプスイッチ④⑤を押します (LED点灯)。



3. ワイプパターンスイッチ⑦⑧～⑩⑪のいずれかを1～4回押します (LED点灯)。

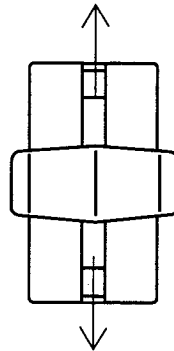


- マルチスイッチ⑫を1～4回押すと (LED点灯)、さらにワイプパターンが変わります。
- ワイプパターンについて詳しくは22ページを参照してください。

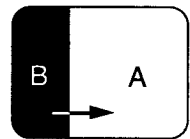
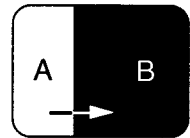


4. ワイプ/ミックスレバー⑬で映像を調節します。

Aバスの映像が広がる



Bバスの映像が広がる

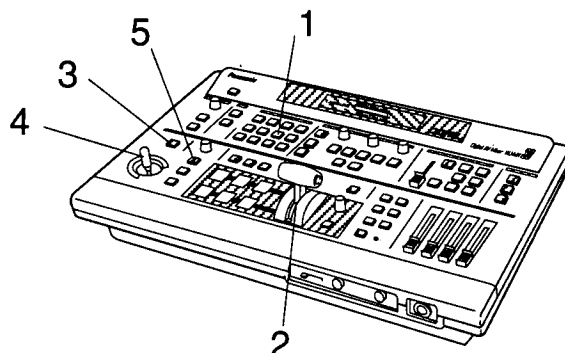


- レバーポジション表示LED⑭は、ワイプ/ミックスレバー⑬がAバス側にあるときはAバス側のLEDが点滅し、レバーがAバス側いっぱいになると点灯します。レバーをBバス側に倒した場合は、Bバス側のLEDが点滅/点灯します。
- ワイプ/ミックスレバー⑬の操作を自動的に行うときは、オートテイク機能 (30ページ参照)、音量をワイプに連動させるときは、オーディオフォロー機能 (29ページ参照) を使います。

■ スクエアワイプの移動

スクエアワイプではワイプパターンの位置を移動できます。

スクエアワイプスイッチ⑬とマルチスイッチ⑯の組み合わせによる16種類のパターンのいずれでも、移動することが可能です。

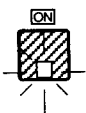
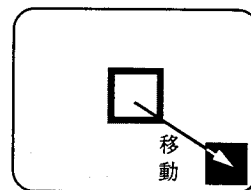
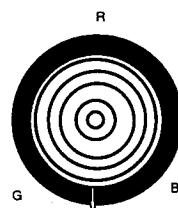


1. 「ワイプ効果の操作手順」の説明にしたがってスクエアワイプを実行します。→24ページ参照

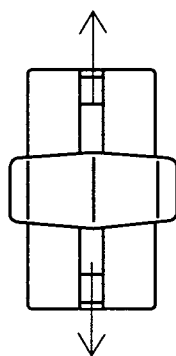
4. ジョイスティック④を操作します。ジョイスティック④を倒した方向にワイプが移動します。



2. ポジションONスイッチ⑫を押します(LED点灯)。(ワイプサイズは倍になります)



3. ワイプ/ミックスレバー⑬でワイプパターンの大きさを決めます。



ご注意

ジョイスティック④はポジション機能とカラーコレクタの色合い調節に共通のため、ポジションONの時にカラーコレクタをONにすると、ポジション機能は保留(ワイプの位置は保持されLED点滅)になります。

ミックスエフェクト

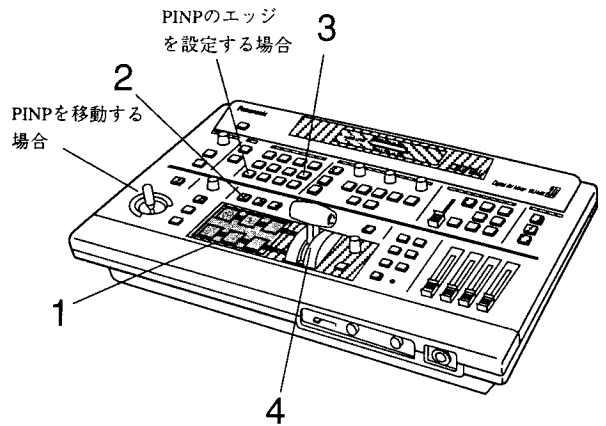
■ P IN P (ピクチャー・イン・ピクチャー)

Aバスの映像の中に、Bバスの映像を小さく表示します。

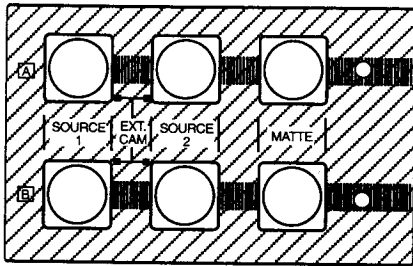
P IN Pはピクチャー・イン・ピクチャーの略で、Aバスの映像の中にBバスの映像を縮小して表示する機能です。縮小画面は1/4、1/9、1/16の3種類から選択できます。また、マットを背景に、AバスとBバスの映像を両方とも1/9縮小画面で表示するダブルP IN Pという機能もあります。

ご注意

ダブルP IN Pの場合は、シングルP IN Pに比べて画質が多少劣化します。



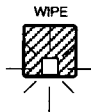
1. ソース選択スイッチでAバス⑤とBバス⑥の映像を選択します。



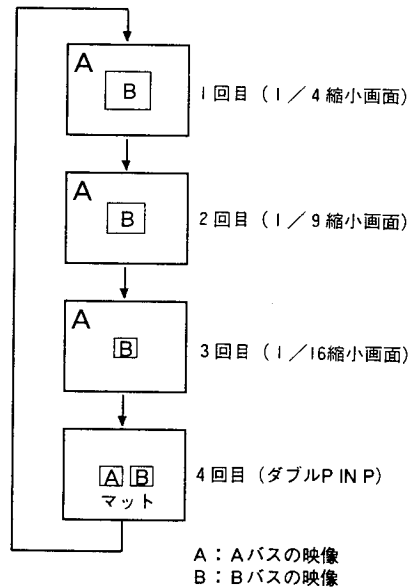
ご注意

ダブルP IN Pの場合は、Aバス、Bバスの入力信号としてマットは選択できません。

2. ワイプスイッチ④を押します (LED点灯)。

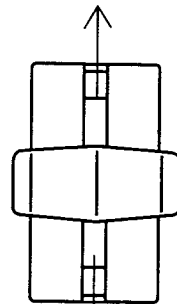


3. P IN Pスイッチ⑭を押します (LED点灯)。
 - ・ワイプ/ミックスレバー⑮をBバス側に倒すとBバスの映像がAバスの映像の中に縮小して表示されます。
 - ・P IN Pスイッチ⑭を押す回数によって、Bバスの映像の縮小率が変わります。4回目はダブルP IN Pです。



4. ワイプ/ミックスレバー⑮を操作して、映像の濃さを調節します。

ワイプパターンが薄くなる



ワイプパターンが濃くなる



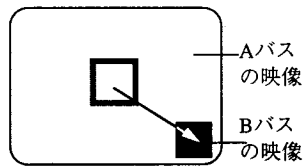
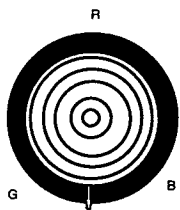
●PINPの移動

Bバスの映像の位置をジョイスティック④で移動できます。

1. PINPの状態にします。(26ページ参照)
2. ポジションONスイッチ④を押します(LED点灯)。



3. ジョイスティック④を倒した方向にBバスの映像が移動します。



ご注意

ダブルPINP時の移動方向は上下のみです。

ご注意

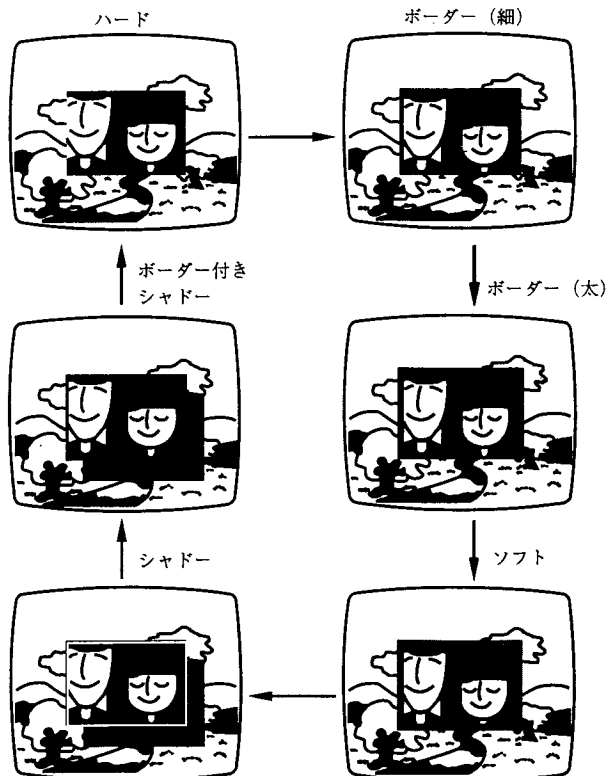
ジョイスティック④はポジション機能とカラーコレクタの色合い調節に共通のため、ポジションONの時にカラーコレクタをONすると、ポジション機能は保留(ワイプの位置は保持されLED点滅)になります。

●PINPのエッジ(境目)の設定

PINPの状態でワイプエッジスイッチ⑤を押すと(LED点灯)、ワイプのエッジ(境目)が変更されます。ワイプエッジスイッチ⑤を押すごとに次のように変わります。エッジの色はマットの補色が使われます。



- ・ワイプで行ったエッジの設定は、PINPのときにも有効です。PINPで行ったエッジの設定は、シャドー、ボーダー付きシャドーを除き、ワイプでも有効です。シャドー、ボーダー付きシャドーに設定した場合は、ワイプではハードになります。

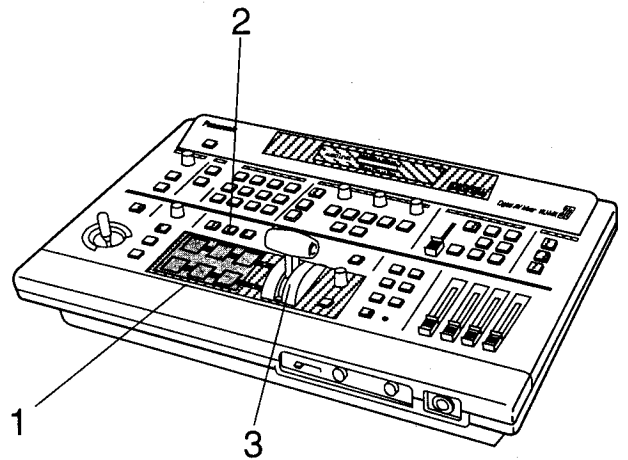


ミックスエフェクト

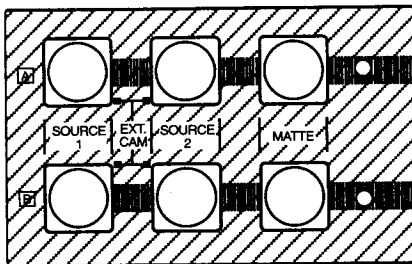
■ミックス効果の操作手順

AバスとBバスの映像をオーバーラップさせながら入れ換えます。

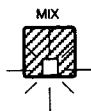
ミックス効果は、ワイプ/ミックスレバー⁵³の操作によってAバスとBバスの映像をオーバーラップ（重ね合わせて表示）させながら入れ換えるものです。



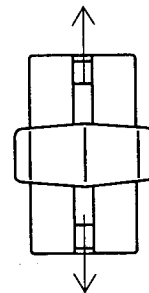
1. ソース選択スイッチでAバス⁵⁰とBバス⁵¹の映像を選択します。マットを選択することもできます。



2. ミックススイッチ⁴⁷を押します（LED点灯）。



3. ワイプ/ミックスレバー⁵³で映像を調節します。



Aバスの映像が濃くなる

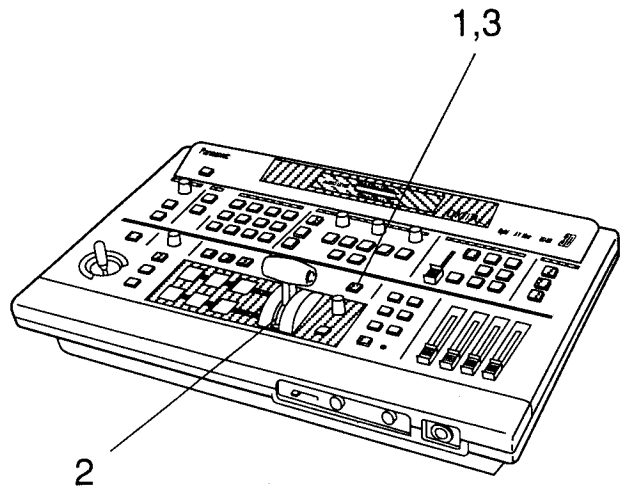
Bバスの映像が濃くなる

- レバーポジション表示LED⁵²は、ワイプ/ミックスレバー⁵³がAバス側にあるときはAバス側のLEDが点滅し、レバーがAバス側いっぱいになるとLEDが点灯します。レバーをBバス側に倒した場合は、Bバス側のLEDが点滅/点灯します。
- ワイプ/ミックスレバー⁵³の操作を自動的に行うときは、オートテイク機能（30ページ参照）、音量をワイプに連動させるときは、オーディオフォロー機能（29ページ参照）を使います。

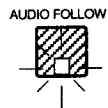
■オーディオフォロー（ワイプ／ミックス音声切換）

ワイプ効果やミックス効果のとき、ワイプ／ミックスレバー⑤③に連動してAバスとBバスの音声を切り換えます。

ワイプやミックスのとき、ワイプ／ミックスレバー⑤③の操作によって映像が切り換わるのに合わせ、音声も自動的に切り換わるようにします。これをオーディオフォロー機能といいます。



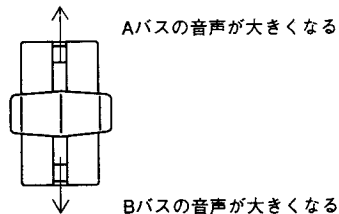
1. オーディオフォロースイッチ⑤④を押します（LED点灯）。



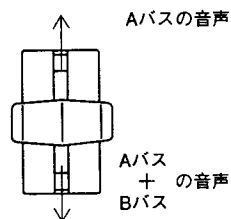
2. ワイプ／ミックスレバー⑤③を倒します。

① 通常ワイプの場合

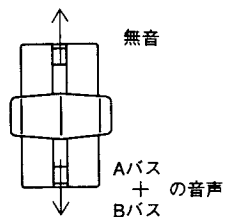
ワイプ／ミックスレバー⑤③をAバス側に倒すと、Aバス側の音声が大きくなり、Bバス側に倒すとBバス側の音声が大きくなります。



② P IN Pの場合



③ ダブルPINPの場合



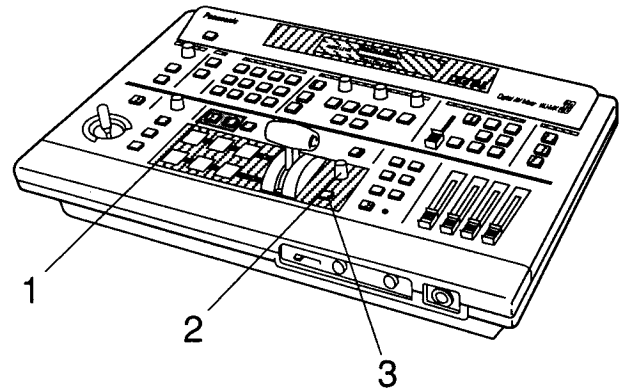
3. オーディオフォロー機能をやめる場合は、もう一度オーディオフォロースイッチ⑤④を押します（LED消灯）。

ミックスエフェクト

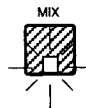
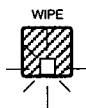
■オートテイク（ワイプ/ミックスの自動操作）

ワイプ効果やミックス効果のとき、ワイプ/ミックスレバー⑤③の操作を自動で行います。

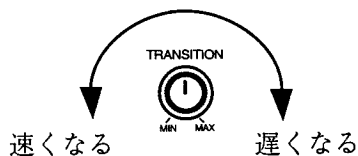
ワイプとミックスのときのワイプ/ミックスレバー⑤③の操作を自動的に行うことができます。これをオートテイク機能といいます。



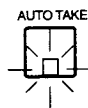
1. ワイプスイッチ④⑥またはミックススイッチ④⑦を押します（LED点灯）。ワイプについては「ワイプ効果」（22ページ）を、ミックスについては「ミックス効果」（28ページ）を参照してください。



2. トランジションつまみ⑤⑤を回し、ワイプ/ミックスの速さを設定します。右に回すと遅くなり、左に回すと速くなります。設定範囲は0秒～約17秒です。



3. オートテイクスイッチ⑤⑥を押します（LED点灯）。ワイプ/ミックスが行われます。



- このときワイプ/ミックスレバー⑤③は動きませんが、レバーポジション表示LED⑤②の点滅により進行状況がわかります。
- ワイプ/ミックスレバー⑤③をレバーポジション表示LED⑤②の点滅している側に倒すと、オートテイクから手動に切り換わります。
- ワイプ/ミックスを途中で停止する場合は、もう一度オートテイクスイッチ⑤⑥を押します。再度オートテイクスイッチ⑤⑥を押すと、ワイプ/ミックスが再開されます。

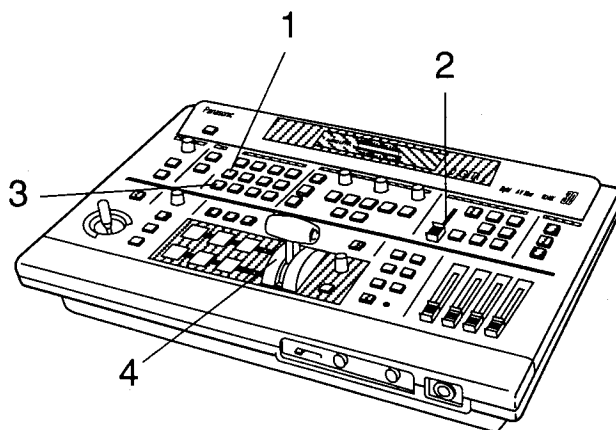
4. ワイプ/ミックスが終了すると、オートテイクスイッチ⑤⑥は消灯します。



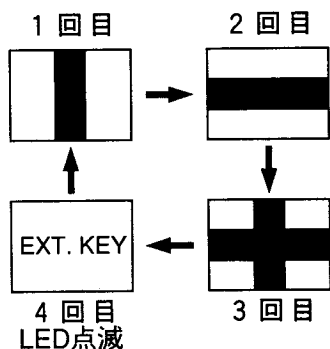
- 画面をワイプ/ミックス実行前の状態に戻す場合は、オートテイク終了後にもう一度オートテイクスイッチ⑤⑥を押します。

■エクスターナルキー

外部カメラで撮影したパターンの中にBバス画像を表示することができます。



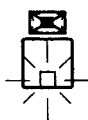
スプリットワイブの4番目を選択すると、エクスターナルキーになります。



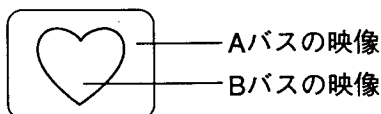
- ・あらかじめ後面の外部カメラ入力コネクタに外部カメラを接続しておいてください。→12ページ参照
- ・外部カメラで撮影する図形は黒地に白で描いてください。



1. 「ワイブ効果の操作」の説明にしたがってスプリットワイブを実行します。→24ページ参照



- ・スプリットワイブスイッチ①は4回押します。スイッチのLEDが点滅します。ワイブ/ミックスレバー③をBバス側に倒すと画面には外部カメラで撮影したパターンの中にBバス画像が表示されます。



- ・ワイブリバーススイッチ②を押すとA,Bの位置が逆になります。

2. ダウンストリームキーレベルつまみ③を調節して、撮影したパターンの境目（エッジ）がきれいに表示されるように調節します。

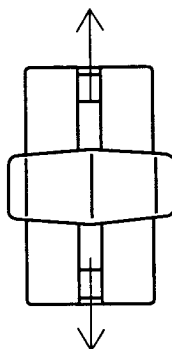


ご注意

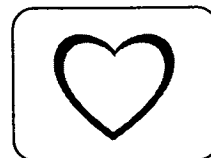
Bバス映像が外部カメラで入力したパターンと同じ映像の場合は、パターンのコントラストの状態により、きれいに抜けないことがあります。

3. ワイブエッジスイッチ④を使って外部カメラで撮影したパターンに縁取りをつけることができます。縁取りの色はマットの補色になります。
4. ワイブ/ミックスレバー⑤を操作することにより、Bバス画像の濃さを変えることができます。

ワイブパターンが薄くなる



ワイブパターンが濃くなる

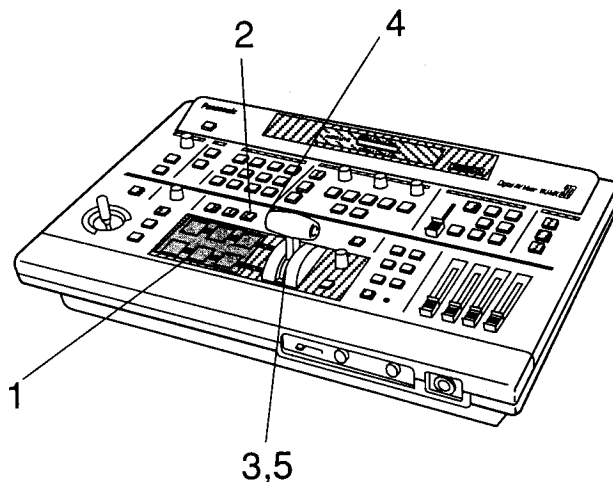


ミックスエフェクト

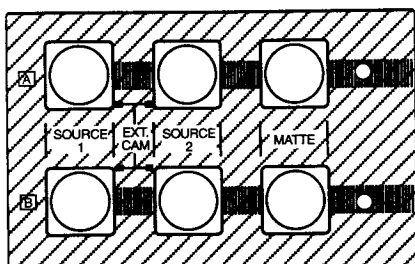
■ ルミナスキー

Bバスの映像の明るい部分をAバスの映像に重ねます。

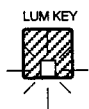
ルミナスキー効果は、Bバスの映像の明るい部分をAバスの映像に重ねるものです。白い被写体を別の背景上に表示したり、タイトル文字をAバスの映像に重ねる場合などに使います。



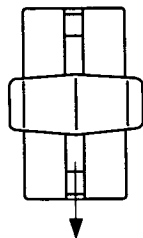
1. ソース選択スイッチでAバス⑤とBバス⑥の映像を選択します。マトを選択することもできます。



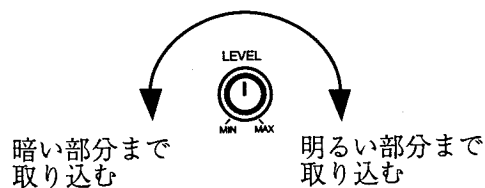
2. ルミナスキースイッチ④を押します(LED点灯)。



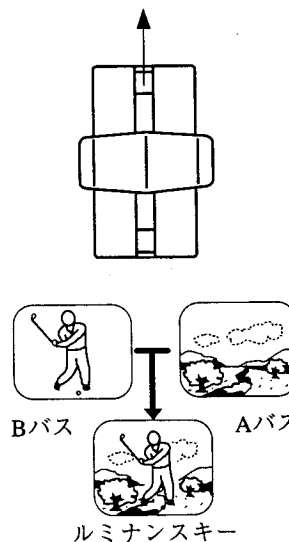
3. ワイプ/ミックスレバー⑤をBバス側に倒します。Aバスの映像に重なって表示されBバスの明るい部分の映像が最も濃く表示されます。



4. ルミナスキーレベルつまみ④を回し、Bバスからの取り込みの基準となる明るさを調節します。MAX側で明るい部分、MIN側で暗い部分まで取り込みます。

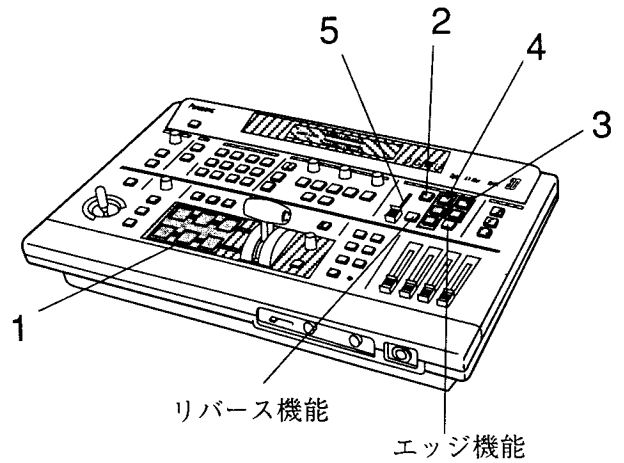


5. ワイプ/ミックスレバー⑤をAバス側に倒していくと、Bバスの映像が薄くなっていきます。

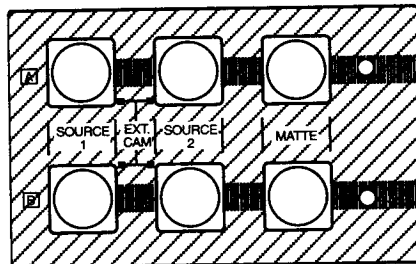


ダウンストリームキー

映像の中に文字などをスーパーインポーズします。外部カメラで撮影したタイトル文字を別の映像にスーパーインポーズします。タイトル文字を撮影した信号をキーソースといい、タイトル文字の色をキーフィルといいます。キーソースはVTRの映像でも外部カメラ入力の映像でもかまいません。キーフィルには白またはマットカラーが使えます。

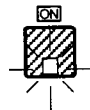


1. ソース選択スイッチでAバス⑤⑥とBバス⑤⑦の映像を選択します。外部カメラ入力を選択することもできます（ソース1スイッチとソース2スイッチの同時押し）。

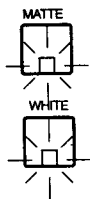


- ・外部カメラ入力を選択する場合は、あらかじめ本機後面の外部カメラ映像入力コネクタ⑦に外部カメラを接続し、タイトル文字を撮影します。タイトル文字は黒地に白い字で書きます。→34ページ参照

2. ダウンストリームキーONスイッチ③⑧を押します（LED点灯）。

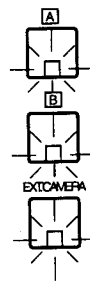


3. キーフィル選択スイッチ③⑨のいずれかを押します（LED点灯）。



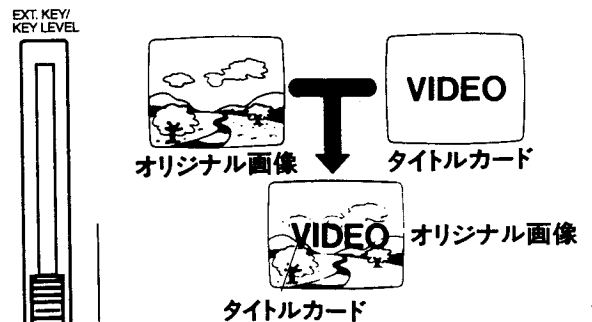
MATTE：マットカラーをキーフィルにする
WHITE：白をキーフィルにする

4. キーソース選択スイッチ③④のいずれかを押します（LED点灯）。



A：Aバスの映像をキーソースにする
B：Bバスの映像をキーソースにする
EXT. CAMERA
：外部カメラ入力をキーソースにする

5. スーパーインポーズの輪郭がきれいになるようダウンストリームキーレベルつまみ③②で調節します。
・この調節は、タイトル入力コネクタからの入力には効きません。
・タイトル文字をフェードアウト/フェードインすることができます。→35ページ参照

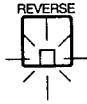


- ・ダウンストリームキーとエクスターナルキーは、それぞれ独立で動作しますが、キーレベルは共通です。

ダウンストリームキー

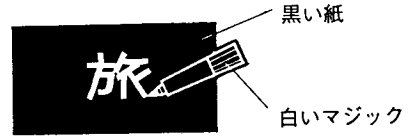
●リバーズ機能

スーパーインポーズ中にダウンストリームキーリバーススイッチ³⁶を押すと（LED点灯）、スーパーインポーズのキーフィルと背景が入れ換わります。



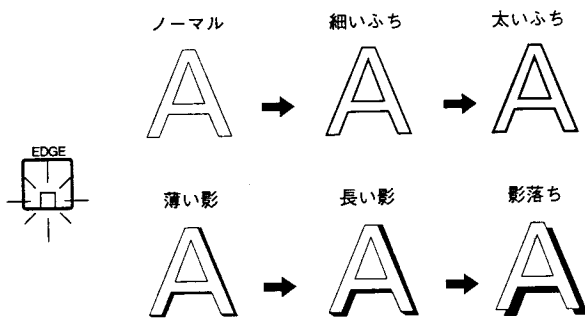
●タイトルをきれいにスーパーインポーズするには

黒い紙に白いマジックなどでタイトルを描きます。



●エッジ機能

スーパーインポーズ中にダウンストリームキーエッジスイッチ³⁷を押すと（LED点灯）、タイトル文字に縁取りや影が付きます。ダウンストリームキーエッジスイッチ³⁷を押すごとに次のように変化します。



×
旅

VIDEO

細い字

○
旅

VIDEO

太くむらのない字

ご注意

- ・細すぎる文字や複雑な漢字はきれいに出来ないことがあります。
- ・使用するモニタ画面にタイトルが納まるよう、タイトルの大きさを考慮してください。

- ・キーフィルが白のときは、縁取りと影の色はマットになります。
- ・キーフィルがマットのときは、縁取りと影の色は黒になります。

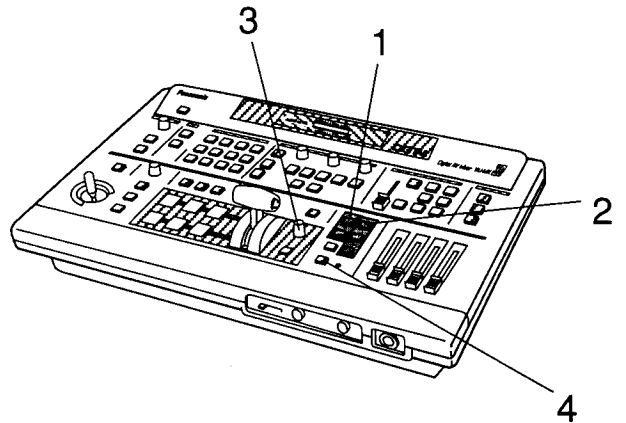
フェードイン／フェードアウト

映像、ダウンストリームキーでスーパーインポーズしたタイトル文字、音声をフェードイン／フェードアウトできます。映像をフェードアウトしたあとの色や、フェードの速さの指定もできます。

■ 映像やタイトル文字のフェードイン／アウト

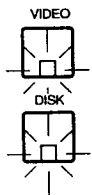
映像、タイトル文字をフェードイン／フェードアウトします。

フェードイン／フェードアウトしたい映像またはタイトル文字（ダウンストリームキー）を出力したうえで、次の操作をします。



1. フェード選択スイッチ⑤7のVIDEOまたはDSKを押し（LED点灯）、フェードの対象を選択します。

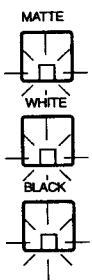
- ・VIDEO：映像をフェードする
- ・DSK：ダウンストリームキーでスーパーインポーズしているタイトル文字をフェードする



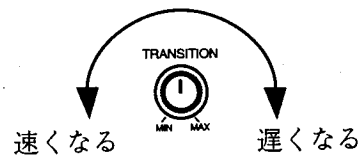
- ・フェード選択スイッチ⑤7のいずれも選択されていないときは、オートフェードは動作しません。

2. フェードカラー選択スイッチ⑤8のいずれかを押し（LED点灯）、フェードアウト後の色を選択します。

- ・MATTE：マットカラーになる
- ・WHITE：白になる
- ・BLACK：黒になる



3. トランジションつまみ⑤5でフェードの速さを設定します。右に回すと遅くなり、左に回すと速くなります。設定範囲は0秒～約17秒です。

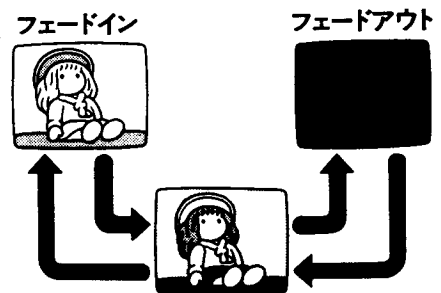


- ・オートフェードとオートテイクは、それぞれ独立で動作しますが、設定時間は共通です。

4. オートフェードスイッチ⑤9を押します。フェードアウトが行われます。



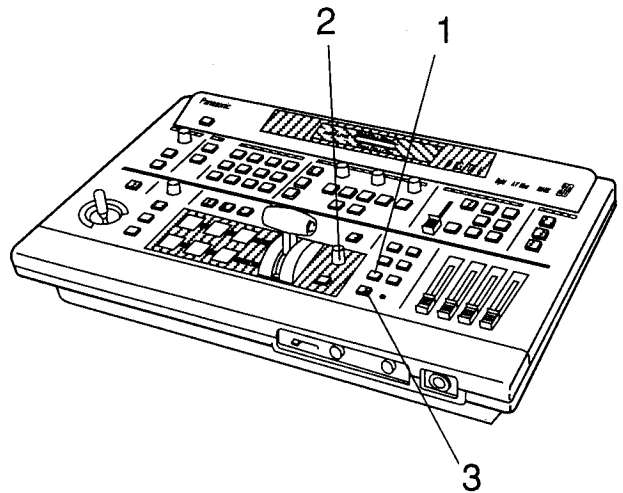
- ・フェードアウトの途中でオートフェードスイッチ⑤9を押すと、フェードが停止します。
- ・もう一度オートフェードスイッチ⑤9を押すと、フェードが再開されます。



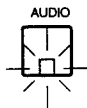
フェードイン/フェードアウト

■ 音声のフェードイン/アウト

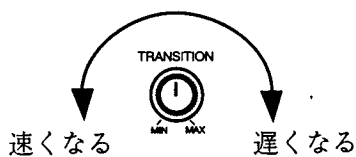
音声をフェードイン/フェードアウトします。
フェードイン/フェードアウトしたい音声を出力したうえで、次の操作をします。



1. フェード選択スイッチ⑤⑦のAUDIOを押します (LED点灯)。



- ・フェード選択スイッチ⑤⑦のVIDEOやDSKを押すと、映像やタイトル文字といっしょに音声をフェードすることができます。
 - ・フェード選択スイッチ⑤⑦のいずれも選択されていないときは、オートフェードは動作しません。
2. トランジションつまみ⑤⑤でフェードの速さを設定します。右に回すと遅くなり、左に回すと速くなります。設定範囲は0秒～約17秒です。



3. オートフェードスイッチ⑤⑨を押します。フェードアウトが行われます。



- ・フェードアウトの途中でオートフェードスイッチ⑤⑨を押すと、フェードが停止します。
- ・もう一度オートフェードスイッチ⑤⑨を押すと、フェードが再開されます。

- ・オートフェードとオートテイクは、それぞれ独立で動作しますが、設定時間は共通です。

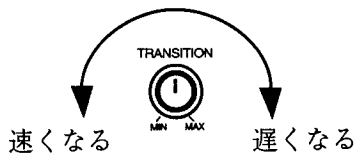
イベントメモリ

本機の各種設定をイベントメモリに登録し、ワンタッチで実行できます。登録できるのはオーディオミキシング以外の設定すべてです。イベントメモリは8つあるので、最大8種類の設定が登録できます。イベントメモリを連続して実行することもできます。

■ 登録のしかた

イベントメモリに本機の設定を登録します。イベントメモリは全部で8つあります。どのイベントメモリに登録するかは、イベントナンバースイッチ（ワイプパターンスイッチ⑦～⑬と共用）で指定します。

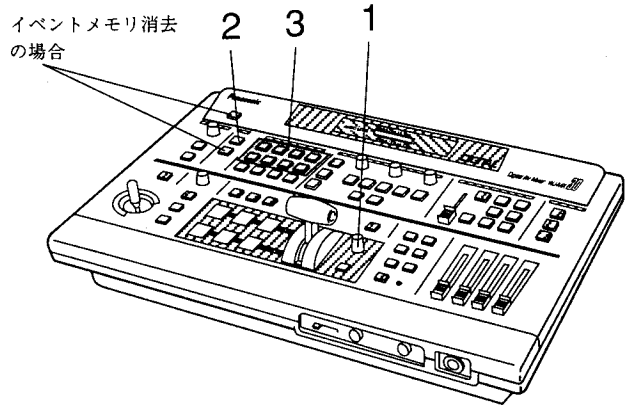
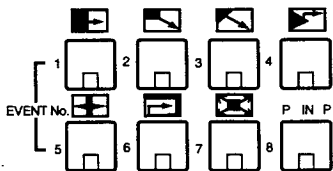
1. イベントメモリに登録したい設定にします。
 - ・オーディオミキシング以外の設定が登録できます。
 - ・トランジションつまみ⑤でイベントメモリ実行時の速さを設定します。右に回すと遅くなり、左に回すと速くなります。設定範囲は0秒～約17秒です。



2. イベントメモリ登録スイッチ⑤を押します（LED点灯）。



3. 登録したいイベントナンバースイッチ⑦～⑬を押します。押したスイッチのLEDが3回点滅してから消灯します。これで登録が完了です。

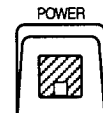


- ・スイッチの左に書かれた数字がイベントナンバーです。
- ・登録済みのイベントナンバーを選択すると、新しい内容で上書きされて、元の登録内容は消えます。

■ 登録内容の消去

次の操作により、イベントメモリの登録内容が消去されます。イベントメモリを個々に消去することはできません。

1. 電源スイッチ④を押して、電源を切ります（LED消灯）。



2. イベントメモリ登録スイッチ⑤とイベントメモリ呼出スイッチ⑥を押したまま、電源スイッチ④を押して電源を入れます。



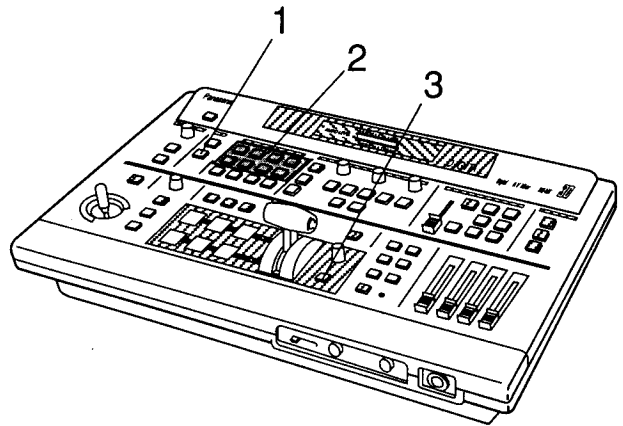
ご注意

後面の主電源スイッチ⑮を長期間OFFにした場合も登録内容は消去されます。

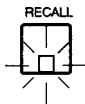
イベントメモリ

■ イベントメモリの実行

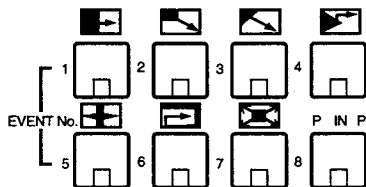
イベントメモリに登録した設定を呼び出します。



1. イベントメモリ呼出スイッチ⑥を押します (LED点灯)。



2. 実行するイベントメモリのイベントナンバースイッチ⑦～⑬を押します (LED点灯)。



- 登録されていないイベントナンバースイッチを押しても、ききません。(LEDは消灯のまま)

3. オートテイクスイッチ⑬を押します。登録してある内容が実行されます。終了すると、次のイベントナンバースイッチのLEDが点灯して待機します。



- もう一度オートテイクスイッチ⑬を押すと、次のイベント番号のイベントが実行されます。違うイベントを実行する場合は、手順2、3を繰り返します。
- 終了するときは、イベントメモリ呼出スイッチ⑥を再度押して、OFFにします。(LED消灯)

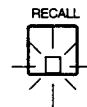
● ご注意

- ワイプ/ミックスを含んだ効果をイベント番号順に実行する場合は、各イベント終了後のバスと、次のイベント開始時のバスを一致させてください。例えば、AバスからBバスへのワイプを行うイベントの次に、AバスからBバスへミックスするイベントを実行しても、正しく実行されません。
- イベント実行後のレバー、スライドつまみの電気的狀態は、その時点での機械的狀態とは異なります。例えば、ワイプ/ミックスレバー⑬が機械的には中央に位置していても、電気的にはBバス側いっぱいになっていることもあります。そのレバーやスライドスイッチを動かすと、電気的狀態は機械的狀態に一致します。

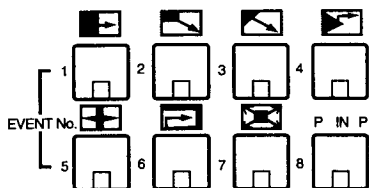
● GPI入力によるイベントメモリの実行

イベントメモリを待機状態にしてからGPIコネクタに信号を入力すると、待機中のイベントメモリが実行されます。

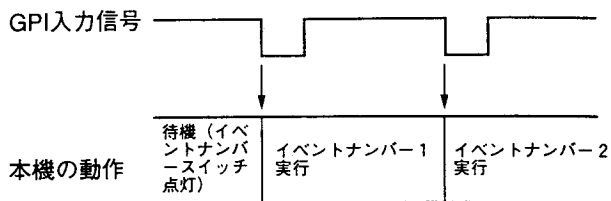
1. イベントメモリ呼出スイッチ⑥を押します (LED点灯)。



2. 実行するイベントメモリのイベントナンバースイッチ⑦～⑬を押します（LED点灯）。



3. GPIコネクタから信号を入力します。信号を入力するたびにイベントメモリが実行されます。



■ イベントメモリの使用例

● ワイプ効果の例

Aバス映像からBバス映像へワイプする例です。

1. ワイプスイッチ④⑤を押し、ワイプパターンを選択します。
2. トランジションつまみ⑤⑤を調節します。
3. ワイプ/ミックスレバー⑤③をBバス側に倒します。
4. イベントメモリ登録スイッチ⑥を押します。
5. イベントメモリ呼出スイッチ⑥を押します。

以上で登録は終了です。イベントメモリを実行する場合は、ワイプ/ミックスレバー⑤③をAバス側に倒しておきます。手順3のトランジションつまみ⑤⑤の設定に応じた速さでワイプが行われます。

● デジタル効果の例

Aバス映像にモザイクをかけ、モザイクの荒さを徐々に変化させる例です。

1. Aバス映像を出力し、モザイクをかけます。モザイクサイズつまみ②はSMALL側にします。
2. トランジションつまみ⑤⑤を調節します。
3. イベントメモリ登録スイッチ⑥を押します。
4. イベントメモリ呼出スイッチ⑥を押します。

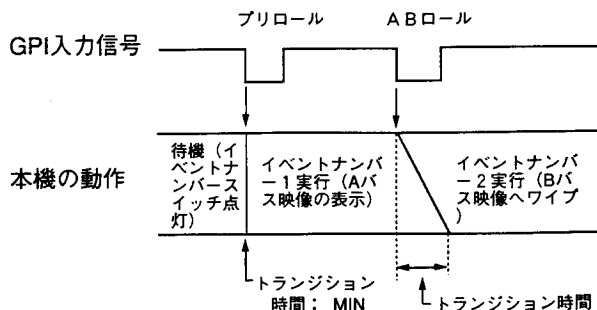
以上で登録は終了です。イベントメモリを実行する場合は、モザイクサイズつまみ②をLARGE側にしておきます。イベントメモリを実行すると、モザイクの荒さが徐々に細くなっていきます。細くなる速さは、手順3のトランジションつまみ⑤⑤の設定によります。

● GPI入力によるイベントメモリの実行例

VTR動作に合わせてプリロール点とABロール点でGPI信号を出力する機器からイベントメモリを実行する例です。2つのイベントメモリを使い、ABロール編集を行います。

1. ワイプ/ミックスレバー⑤③をAバス側に倒します。ABロールの種類（ミックス/ワイプ、ワイプパターンなど）を設定し、トランジションつまみ⑤⑤はMINにします。
2. イベントメモリ登録スイッチ⑥を押します。
3. イベントメモリの1番に登録します。
4. イベントメモリ登録スイッチ⑥を押します。
5. ワイプ/ミックスレバー⑤③をBバス側に倒し、トランジションつまみ⑤⑤でワイプの速さを設定します。
6. イベントメモリの2番に登録します。

以上で登録は終了です。イベントメモリを実行するときは、イベントメモリ呼出スイッチ⑥を押して、イベントナンバースイッチの1番を押します。これで1番のイベントメモリが待機状態になります。この状態でGPI入力によるイベントメモリの実行ができます。



応用操作

ここで説明する操作は、ここまでの説明で出てきた機能を応用したものです。

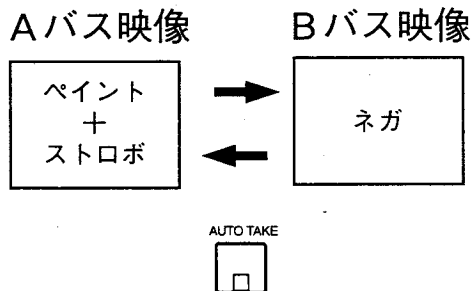
■デジタル効果の応用

デジタル効果をワイプやミックスと組み合わせることにより、特殊な効果を出すことができます。

●デジタル効果の切り換え

デジタル効果の組み合わせをすばやく切り換える方法として、ワイプやミックスのオートテイク（30ページ参照）を利用するやり方があります。次の操作は、オートテイクを使って、ネガ効果と、ペイント+ストロボ効果を切り換える場合の例です。

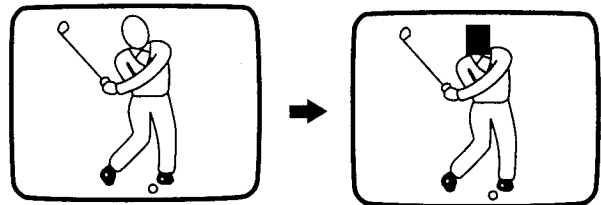
1. ワイプ/ミックスレバー⁵³をAバス側に倒します。
2. Aバス映像にペイントとストロボ効果をかけます。
3. ワイプ/ミックスレバー⁵³をBバス側に倒します。
4. Bバス映像にネガ効果をかけます。
5. トランジションつまみ⁵⁵をMINに合わせます。
6. オートテイクスイッチ⁵⁶を押します。これにより、Bバスの映像がAバスの映像にすぐ切り換わります。



●モザイクスポットライト

スクエアワイプとモザイク効果を組み合わせることにより、映像の一部分にだけモザイクをかけることができます。

1. AバスとBバスで同じソースを選択します。
2. Bバス映像にモザイク効果をかけます。
3. スクエアワイプを選択します。
4. ポジションONスイッチ⁴²を押します。
5. ワイプ/ミックスレバー⁵³でワイプの大きさを調節します。
6. モザイクサイズつまみ²¹でモザイクの荒さを調節します。
7. ジョイスティック⁴¹でスクエアワイプの位置を決めます。
8. ワイプエッジスイッチ¹⁵で境目（エッジ）の種類を選択します。



●残像効果

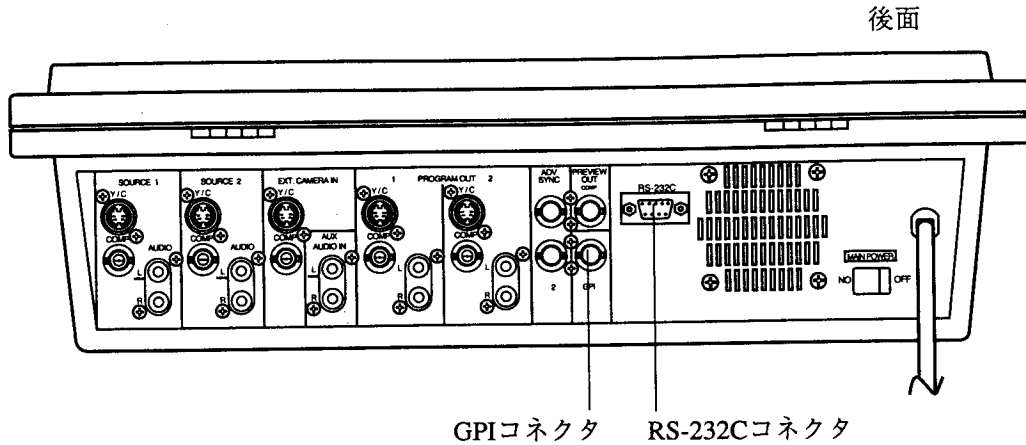
ストロボ効果とミックスを使って、残像の効果を得ることができます。

1. AバスとBバスで同じソースを選択します。
 2. 片方のバスにストロボ効果をかけます。
 3. ミックススイッチ⁴⁷を押します。
 4. ストロボタイムつまみ²²で残像の出方を調節します。
- ・AVシンクロを使えば、音声の大きさに合わせた残像効果をつけることもできます。

■ 外部機器の利用

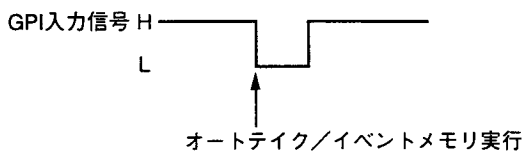
本機を外部機器（GPI出力を装備した機器またはパソコン）で操作します。

本機は、GPIコネクタやRS-232Cコネクタに接続した外部機器によって操作することができます。

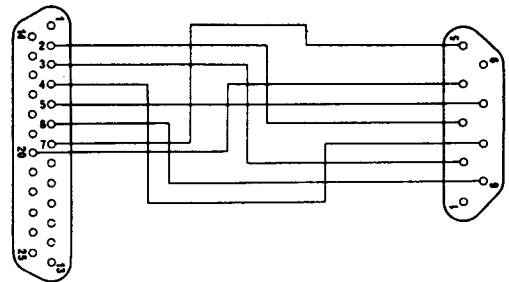


● GPIコネクタ

本機のGPIコネクタに接続した外部機器からはオートテイク、イベントメモリの実行ができます。実行のタイミングは、GPI信号の立ち上がり時です。



・ピン配列



● RS-232Cコネクタ

本機のRS-232Cコネクタに接続したパソコンからは、AVシンクロレベル、外部マイク音量、外部音声入力音量（→18ページ参照）の設定を除いた本機のすべての設定ができます。本機のRS-232Cコネクタの様子は次のとおりです。

RS-232C	WJ-MX30
25-pin	9-pin
2 TXD	1 SPARE
3 RXD	2 RXD
4 RTS	3 TXD
5 CTS	4 DTR
6 DSR	5 SIG.G
7 SIG.G	6 DSR
20 DTR	7 RTS
	8 CTS
	9 SPARE
	[DCE CONNECTION]

・通信プロトコル（パソコン側で設定を合わせてください）

ボーレート	9600bps
キャラクタ長	7bit
パリティ	ODD
ストップビット	1bit
フロー制御	RTS/CTS

ワイプパターン一覧

基本ワイプパターン28種類に、マルチスイッチを組み合わせて、107種類のワイプパターンがあります。

ワイプパターン	ワイプパターン スイッチを押す 回数 (RS-232Cから のワイプNO)	基本	マルチ 1	マルチ 2	マルチ 3	マルチ 4 (ブラインド)
	1回 (01)					
	2回 (02)					
	3回 (03)					
	4回 (04)					
	1回 (05)					
	2回 (06)					
	3回 (07)					
	4回 (08)					
	1回 (09)					
	2回 (10)					
	3回 (11)					
	4回	エクスターナル キーパターン				
	1回 (12)					
	2回 (13)					
	3回 (14)					
	4回 (15)					

ワイプパターン	ワイプパターン スイッチを押す 回数 (RS-232Cから のワイプNO)	基 本	マルチ 1	マルチ 2	マルチ 3	マルチ 4 (ブラインド)
	1回 10 (16)					
	2回 11 (17)					
	3回 12 (18)					
	4回 13 (19)					
	1回 14 (20)					
	2回 15 (21)					
	3回 16 (22)					
	4回 17 (23)					
	1回 18 (24)					
	2回 19 (25)					
	3回 1A (26)					
	4回 1B (27)					

故障と思われましたら

症 状	調 べ る と こ ろ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがACコンセントに確実に差し込まれていますか？
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● VTRや接続機器の電源は入っていますか？ ● ケーブルが正しく接続されていますか？ (12ページ) ● ビデオがフェードアウトされていませんか？ ● S入力にケーブルだけが接続された状態になっていませんか？
ダウンストリームキーの文字や 絵柄がきれいに出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● タイトルカードが暗い所に設置されていませんか？ ● ダウンストリームキーレベルつまみ³²で正しく調整していますか？ (33ページ) ● タイトルカードに書かれている文字や絵柄が小さすぎませんか？ ● タイトルカードを写しているカメラのピントは合っていますか？
外部カメラの映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● ダウンストリームキーONスイッチ³³がOFFになっていませんか？ (33ページ) ● ダウンストリームキーがフェードアウトされていませんか？ ● 外部カメラ映像入力コネクタ⁷³に接続されていますか？ (33ページ)
色が見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ● モノクロスイッチ²⁹がONになっていませんか？
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声フェードアウトされていませんか？
ミックス、ワイプモードのとき ミックス/ワイプレバーを動かしても 画像が変化しない	<ul style="list-style-type: none"> ● A側、B側に同じ信号を選択していませんか？ (24ページ)
同期が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ● VTRのトラッキングは正しく調整されていますか？
ワイプパターンのスイッチが きかない	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントメモリモード (ストア⁵、又はリコールスイッチ⁶が点灯か点滅) になっていませんか？

定 格

電 源 : AC100V 50/60Hz

消 費 電 力 : 約27W

映 像 入 力

SOURCE 1~2 : 1Vp-p NTSCコンポジット/
75Ω (BNCコネクタ)
Y信号 1Vp-p
C信号 0.286Vp-p/75Ω
(S端子)

外部カメラ : 1Vp-p NTSCコンポジット/
75Ω (BNCコネクタ)
Y信号 1Vp-p
C信号 0.286Vp-p/75Ω
(S端子)

同期出力 : アドバンスドシンク出力
4.0Vp-p/75Ω (BNC×2)

映 像 出 力

録画出力 : 1Vp-p NTSCコンポジット/
75Ω (BNCコネクタ×2)
Y信号 1Vp-p
C信号 0.286Vp-p/75Ω
(S端子×2)

レビュー出力 : 1Vp-p NTSCコンポジット/
75Ω (BNCコネクタ)

周 波 数 特 性 : 4.5MHz -3dB

ク ロ ス ト ー ク : 50dB以下 (fsc)

サンプリグ

主入力 : 4 : 1 : 1、8 bit

Y : 910fH、14.3MHz

外部カメラ : 1820fH、28.6MHz

S / N : 50dB (コンポジット)、
56dB (Y/C)

制 御 入 力 : RS-232C
9ピンDサブコネクタ×1
GPI (メイク接点) BNC×1

タイトル入力 : 10ピンコネクタ
(キャラクタージェネレータ用)

特 殊 効 果

映 像 : スチル、ストロボ、モザイク、
ペイント、ネガ、モノ、スクラ
ンブル、AVシンクロ

マ ッ ト : 白、黄、水色、緑、赤紫、赤、
青、黒、カラーバー

ワイプパターン : 基本28種類、最大107パターン

音 声 入 力

SOURCE 1~2 : -6dBs/20kΩ
(ピンジャック×2 : L、R)
不平衡

A U X : -6dBs/20kΩ
(ピンジャック×2 : L、R)
不平衡

M I C : -60dBV/600Ω
(大形単頭ジャック、モノラル)
不平衡

音 声 出 力

録音出力2 : -6dBs/1kΩ
(ピンジャック×2 : L、R)
不平衡

ヘッドホン : -6dBV/8Ω
(大形ステレオジャック×1 :
L、R) 不平衡

周 波 数 特 性 : 20~20,000Hz
-3dB、+0dB

ク ロ ス ト ー ク : -70dB以下 (10kHz)

S / N : 70dB

周 囲 温 度 : 0℃~+40℃ 動作保証

寸 法 : 480(幅)×132(高さ)
×308(奥行) mm

質 量 (重 量) : 約4.8kg

仕 上 げ : AVアイボリー塗装
マンセル7.9Y6.8/0.8近似色

索引

【英字】

AVシンクロ	20
AVシンクロスイッチ	7
AVシンクロレベルつまみ	7
Aバス出力スイッチ	7
Aバスソース選択スイッチ	8
Bバス出力スイッチ	7
Bバスソース選択スイッチ	8
GPI入力コネクタ	11
GPI入力によるイベントメモリの実行	38
P IN P (ピクチャー・イン・ピクチャー)	26
P IN Pスイッチ	6
P IN Pの移動	27
P IN Pのエッジ(境目)の設定	27
RS-232Cコネクタ	11

【あ】

アドバンスドシンク出力コネクタ	11
イベントメモリ	37
イベントメモリ登録スイッチ	6
イベントメモリの実行	38
イベントメモリの使用例	39
イベントメモリ呼出スイッチ	6
色合い	17
色の濃さ	17
映像出力コネクタ1	10
映像出力コネクタ2	11
映像やタイトル文字のフェードイン/アウト	35
エクスターナルキー	31
エッジ	23
エッジ機能	34
オーディオフォロー	29
オーディオフォロースイッチ	8
オーディオレベル	7
オートテイク	30
オートテイクスイッチ	9
オートフェードスイッチ	9
音声出力コネクタ1	11
音声出力コネクタ2	11
音声のフェードイン/アウト	36
音量の調節	18

【か】

外部音声入力音量つまみ	9
外部音声入力コネクタ	10
外部カメラ映像入力コネクタ	10
外部マイク音量つまみ	9
カラーコネクタ	17
カラーコネクタONスイッチ	8
カラーコネクタバス選択スイッチ	8

キーソース選択スイッチ	7
キーフィル選択スイッチ	7
グラデーション	16
グラデーションスイッチ	6
クロマ調節つまみ	8
コーナーワイプスイッチ	6

【さ】

主電源スイッチ	11
ジョイスティック	8
スーパーインポーズ	33
スクエアワイプスイッチ	6
スクエアワイプの移動	25
スクランブル	19
スチル	20
スチルスイッチ	7
ストレートワイプスイッチ	6
ストロボ	19
ストロボスイッチ	7
ストロボタイムつまみ	7
スプリットワイプスイッチ	6
接続	12
ソース1映像入力コネクタ	10
ソース1音声入力コネクタ	10
ソース1音量つまみ	9
ソース2映像入力コネクタ	10
ソース2音声入力コネクタ	10
ソース2音量つまみ	9

【た】

タイトル入力コネクタ	9
タイトルをきれいに	
スーパーインポーズするには	34
ダイヤゴナルワイプスイッチ	6
ダウンストリームキー	33
ダウンストリームキーONスイッチ	7
ダウンストリームキーエッジスイッチ	7
ダウンストリームキーリバーススイッチ	7
ダウンストリームキーレベルつまみ	7
デジタル効果ONスイッチ	7
デジタル効果の切り換え	40
デジタル効果の種類	19
デジタル効果の操作手順	21
デジタル効果バス選択スイッチ	7
電源コード	11
電源スイッチ	6
電源を入れる	14
電源を切る	14
特殊効果出力スイッチ	7
トライアングルワイプスイッチ	6

アフターサービスについて

1. 保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間… お買い上げ日から1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、必ず主電源スイッチを「OFF」にしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理させていただきます。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日（保証書をご覧ください）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日

● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

3. アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お 買 上 げ 年 月 日	年	月	日	品番 WJ-MX30
販 売 店 名				電話 () -
最寄りの当社ご相談窓口				電話 () -

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒226 横浜市緑区佐江戸町600 TEL.(045)932-1231 (大代表)

AN0293-0

V8QA2944AN